

くまもと新時代共創総合戦略に係る 取組み状況について

令和8年(2026年)8月

熊 本 県

目 次

1. くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について・・・・・・・・・・	-3-
2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況（令和7年度）について	
（1） こどもたちが笑顔で育つ熊本・・・・・・・・・・	-8-
（2） 世界に開かれた活力あふれる熊本・・・・・・・・・・	-12-
（3） いつまでも続く豊かな熊本・・・・・・・・・・	-19-
（4） 県民の命、健康、安全・安心を守る・・・・・・・・・・	-22-
3. K P I の状況等と今後の取組みの方向性・・・・・・・・・・	-26-
（参考資料1） 地域未来戦略の概要・・・・・・・・・・	-31-
（参考資料2） くまもと新時代共創総合戦略 K P I 一覧・・・・・・・・	-33-
（参考資料3） 地方創生関係交付金の活用・・・・・・・・・・	-40-

1. くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について

(1) 地方創生に関する国及び熊本県の動向

国の動向		熊本県の動向	
R4.12	「デジタル田園都市国家構想総合戦略」閣議決定 ・デジタルの力を活用し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す方向性を提示。	R6.12	「くまもと新時代共創基本方針」及び「くまもと新時代共創総合戦略」策定
R7.12	「地方創生に関する総合戦略」閣議決定 ・「強い経済」、「豊かな生活環境」、「選ばれる地方」に関する施策を推進。	R7.8	「第1回くまもと新時代共創会議」開催 ・地方創生の課題や今後の方向性について、知事と産官学金労言など28民間団体による意見交換を実施。
R8.7	「地域未来戦略」閣議決定 ・R7.12に策定された「地方創生に関する総合戦略」を改訂。 ・ <u>強い地域経済の構築に重点を置いた新たな取組みに加え、これまでの地方創生で進めてきた取組みも含めた全体戦略。</u> ・計画期間：2030年度まで。	R7.10 ～R8.2	令和8年度予算編成 ・総合戦略推進のための重要検討テーマを設定し、予算編成を実施。 【重点検討テーマ】 ① 人材育成・確保 ② 次世代育成 ③ 共生社会の実現
		R8.8 (本日)	「第2回くまもと新時代共創会議」開催 ・地方創生の課題や今後の方向性について知事と産官学金労言など28民間団体による意見交換を実施。

1.くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について

(2)基本方針・総合戦略の概要

基本理念 県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る
～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

国際

【世界に広がる】

人材

【人を育てる】

共創

【共に創る】

実現

取組みの基本的方向性(総合戦略)

【柱1】こどもたちが 笑顔で育つ熊本	【柱2】世界に開かれた 活力あふれる熊本	【柱3】いつまでも続く 豊かな熊本	【柱4】県民の命、健康、 安全・安心を守る
施策1 こども・若者がキラキラ輝く 社会づくり 施策2 家庭や子育てに夢を持てる 社会づくり 施策3 質の高い教育・未来を担う 人材の育成	施策1 「くまもとで働く」人材の 確保・育成 施策2 世界に伍する産業拠点熊本の 創出 施策3 「食のみやこ熊本県」の創造 施策4 スポーツ、観光、文化芸術の 振興 施策5 交通の利便性向上	施策1 豊かな自然の保全 施策2 移住定住、関係人口市創出 施策3 魅力ある地域づくり 施策4 社会の多様性	施策1 「緑の流域治水」を核とした 創造的復興 施策2 災害に強い県土づくり 施策3 健康で長寿な社会の実現 施策4 安全・安心の地域づくり 施策5 水俣病問題への対応

【重要課題に関する推進本部】

「こどもまんなか熊本」推進本部

「くまもとで働こう」推進本部

熊本県渋滞解消推進本部

熊本県地下水保全推進本部

熊本県外国人材との共生推進本部

1.くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について

(3)県政の重要課題に対する各推進本部の取組みについて

「こどもまんなか熊本」推進本部

【目的】

「こどもまんなか熊本」の実現に向けた、計画の策定、施策の推進、情報共有及び関係部局の連携等

【取組テーマ】

- (1)こども・若者が幸せに暮らし、成長できるようにする
- (2)子育て中も安心して働き続けられる環境の整備
- (3)中小企業での「こどもまんなか熊本」取組みの推進
- (4)結婚から安心してこどもが産める流れを創る
- (5)庁内外の連携体制の構築

【推進本部会議の開催状況(令和7年度)】

計3回開催(令和7年6月、令和7年10月、令和8年3月)



「くまもとで働こう」推進本部

【目的】

県内産業界における人手不足が深刻になる中、関係部局の連携による人材の育成・確保

【取組テーマ】

- (1)県内定着
- (2)人材育成
- (3)生産性向上
- (4)働きやすい職場環境づくり

【推進本部会議の開催状況(令和7年度)】

計2回開催(令和7年6月、令和7年10月)



1.くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について

(3)県政の重要課題に対する各推進本部の取組みについて

熊本県渋滞解消推進本部

【目的】

熊本都市圏における渋滞解消を図るため、課題解決に向けた取組を迅速かつ強力に推進

【取組テーマ】

- (1)公共交通の利便性向上及び利用促進
- (2)道路ネットワーク整備の着実な推進
- (3)広域道路ネットワークの構築

【推進本部会議の開催状況(令和7年度)】

計2回開催(令和7年7月、令和7年12月)

■ 交通渋滞の緩和

現道渋滞状況(バイパス開通前)



現道渋滞状況(バイパス開通後)



熊本県地下水保全推進本部

【目的】

熊本の地下水を確実に守るため、部局横断的に、地下水量の保全及び地下水質の保全の取組強化及び県民への情報発信

【取組テーマ】

- (1)地下水量の保全
- (2)地下水質の保全(河川含む)

【推進本部会議の開催状況(令和7年度)】

計3回開催(令和7年4月、令和7年10月、令和8年3月)



熊本県外国人材との共生推進本部

【目的】

外国人材から「選ばれる熊本」を目指し、庁内関係部局が一体となった、県内における多文化共生の推進及び外国人材の受入環境整備の推進

【取組テーマ】

- (1)多文化共生の推進
- (2)外国人材の受入環境整備

【推進本部会議の開催状況(令和7年度)】

計2回開催(令和7年6月、令和7年10月)



1.くまもと新時代共創基本方針・総合戦略について

(4) 第1回くまもと新時代共創会議(R7.8.8)における主な御意見と県の取組み状況

子育て・教育関係

- ・障がいを持つ子どもへの支援の充実が必要
- ・広い視野を持ったグローバル人材や、地域に貢献する人材の育成が必要
- ・地域の若者が地域の大学に進み、そこでしっかりと教育を受け、地域に定着することが必要、さらには就職時の受け皿を整備すべき

【県の取組】・障害のある生徒への学習支援を行う支援員の配置や、医療的ケアが必要な児童生徒の修学旅行参加支援
・県立八代中高における国際バカロレア教育の導入推進
・企業との連携による高校魅力化の推進 等

人材関係

- ・小規模事業者等における賃上げは非常に厳しく、それを支える人材の確保も急務
- ・サービスを維持するためには、外国人材の活用が必要
- ・働く人(職員)の処遇改善が必要

【県の取組】・生産性向上等を目的としたデジタル機器整備を行う中小企業への支援
・女性・高齢者等の働き方改革を進める企業への支援
・国家戦略特区制度を活用した家事支援外国人受入
・職場定着のための基盤整備に取り組む障害福祉サービス事業所等への支援 等

その他

- ・二次交通の充実による観光振興が必要
- ・地下水保全に向け、民間企業との連携や、住民の参画による取組みを進めることが重要
- ・地域の中で埋もれているような消費者被害も救済すべき

【県の取組】・JRグループ等と連携したデスティネーションキャンペーンの実施
・「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」の設置
・多様な主体と連携した金融リテラシー向上のための消費者教育講座の実施 等



2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

<(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり>

「こどもまんなか熊本」の実現とこども若者の
ライフステージに応じた支援

【目的】 こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる「こどもまんなか熊本」の実現

【概要】

- ◆児童・生徒を対象としたキャリア教育の実施。
(建設企業の魅力発見フェア、高校生向け建設産業ガイダンス、スマート水産業に係る出前講座、福祉分野の出前講座、農業体験バスツアー等)
- ◆県営住宅における子育て支援型住宅改修実施(4戸)。



▲建設企業の魅力発見フェア



▲福祉のお仕事魅力発信出前講座



▲県営住宅(竜蛇平団地)

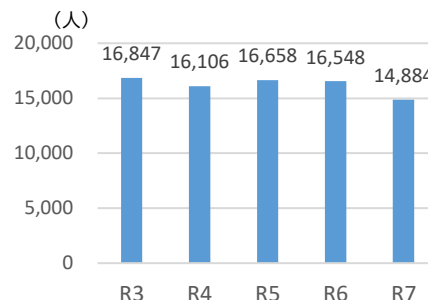


特に支援が必要なこどもへの支援

【目的】 こどもを取り巻く課題への対応や、障がい者や若者の自立支援

【概要】

- ◆在宅生活に移行する常時人工呼吸器を装着する医療的ケア児に、非常用電源装置を貸与する取組を開始。
- ◆障害者就業・生活支援センターでの相談・支援、日常生活支援等を実施(相談・支援件数:14,884件、一般事業所等への就職件数:290件)。
- ◆地域若者サポートステーションでの臨床心理士によるカウンセリングやセミナー開講のための支援を実施(相談者数:9,593名、就労:242人)。



▲障害者就業・生活支援センターでの相談・支援件数



▲地域若者サポートステーション(講座)の様子

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

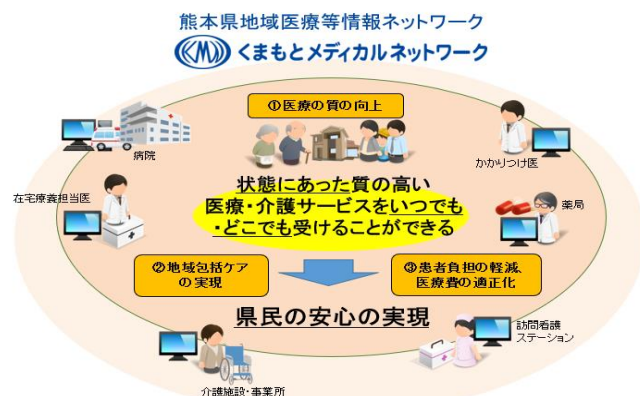
<(施策2)家庭や子育てに夢を持てる社会づくり>

妊娠・出産への支援の充実と 安心して出産できる環境づくりの推進

【目的】 経済的負担の軽減と総合的な周産期医療体制の充実

【概要】

- ◆不妊治療費や、遠方の医療機関への妊婦健診等に係る交通費について補助を行う市町村への助成。
(不妊治療費助成 R6年度:33市町村→R7年度:37市町村)
- ◆周産期母子医療センターの運営等への助成や、周産期医療協議会の開催(2回)。
- ◆くまもとメディカルネットワーク(KMN)等を活用した医療機関間の情報連携の推進。



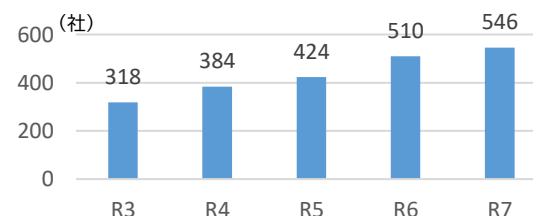
▲くまもとメディカルネットワーク(イメージ図)

多様で柔軟な働き方の推進や ワーク・ライフ・バランスの確保

【目的】 安心して働き続けられる労働環境の整備

【概要】

- ◆ブライト企業として213社(新規66社、更新147社)を認定。認定企業は546社(R8.3時点)。
- ◆新たに企業向け女性採用セミナーや女性向け地域別合同企業説明会を開催。(2社3名の採用)
- ◆女性起業希望者を対象としたセミナーや専門家による伴走支援を実施。(開業届提出:9名、法人設立:1名)



▲ブライト企業認定社数の推移



▲女性向け合同企業説明会



▲女性起業希望者向けセミナー

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

< (施策3)質の高い教育・未来を担う人材の育成 >

安心・安全な学校づくり

【目的】 いじめの未然防止及び早期発見・早期解消、不登校児童生徒への支援

【概要】

- ◆スクールカウンセラーを市町村立小中学校等に87名、県立学校に38名、スクールソーシャルワーカーを教育事務所等に21名、県立学校に8名配置。
- ◆不登校児童生徒の支援として、3Dメタバースを活用したオンライン教育支援センターを試行的に導入(5市町)。



▲オンライン教育支援センター(スタッフと相談・交流等の活動の様子)

学校現場の人材確保・育成、働き方改革の促進

【目的】 多様な人材確保・掘り起し、働き方改革の推進

【概要】

- ◆県内外の高校・大学生に対し、教員の魅力や教員採用における早期特別選考・大学推薦制度等のPRを実施。
- ◆熊本大学教育学部と連携協定を締結し、地域枠3年生を対象とした特別選考を実施。
- ◆全ての県立・市町村立学校(県立中、定時制、通信制除く)へ教育業務支援員、大規模校等には教頭マネジメント支援員等を配置。
- ◆県立・市町村立学校への働き方改革支援アドバイザーを派遣、業務改善事例集の作成・公表。
- ◆県内中学・高校入試へのWEB出願システムの導入。



▲熊本大学教育学部との連携協定



▲高校生へ教員の魅力をPR

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

< (施策3)質の高い教育・未来を担う人材の育成 >

グローバル人材の育成

【目的】 外国語教育、国際教育の充実

【概要】

◆国際バカロレア教育認定に向けた取組みを県立八代中学校・高校で実施(R8.6に八代中学校が九州公立校初のMYP(ミドル・イヤーズ・プログラム)の認定校に認定)。

※国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。八代高校はR7.2にDP(ディプロマ・プログラム)候補校に認定。

◆熊本県立大学において、1か月間の海外インターシップや、海外協定校への交換留学・短期研修を実施。

◆英語運用能力育成や海外大学進学の実践的指導等を行う海外チャレンジ塾を実施。

◆州立モンタナ大学高校生派遣事業で、高校生18人、教員3人をモンタナに派遣。



▲海外短期研修の様子



▲州立モンタナ大学派遣

県立高校の魅力向上

【目的】 魅力ある高校づくりの推進

【概要】

◆「熊本スーパーハイスクール(KSH)構想」に基づいた魅力化・特色化の推進。

◆高森高校マンガ学科や水俣高校半導体情報科など、地元企業等と連携。

◆県立高校全50校が一同に会する「県立高校学びの祭典」の開催(来場者数:5,400人)

◆コーディネーター導入支援による、地域との協働体制(高校魅力化コンソーシアム)の構築(天草市(牛深高校)、御船町(御船高校)、山都町(矢部高校)で構築)。



▲県立高校学びの祭典



▲高森高校マンガ学科

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策1)「くまもとで働く」人材の確保・育成 >

大学等と連携した高度な人材の育成・確保

【目的】 半導体関連産業を中心とした高度な人材育成と確保

【概要】

- ◆熊本県立大学が令和9年4月半導体学部(仮称)開設に向け、文部科学省へ学部の設置認可を申請。
- ◆国の特区認定を活用した、熊本県立技術短期大学校から東海大学への編入学。
- ◆半導体認知度向上のための小中学校への出前授業の実施(阿蘇、八代、天草地域の3小学校、2中学校)。
- ◆「青少年のための科学の祭典」へのブース出展の実施。



▲出前授業の様子



▲青少年のための科学の祭典

DXの推進、地域経済の振興

【目的】 DXの推進、生産性の向上、地域経済と雇用の維持・発展

【概要】

- ◆経営者へのDX普及啓発(128社)、業務プロセスの見直しや省力化への伴走支援(25社)の実施。
- ◆市町村のDX推進への支援(BPR伴走支援(10市町村)、民間デジタル人材による訪問・助言等)の実施。
- ◆国・県の補助事業を活用して生産性の向上に取組み、従業員の賃上げを実施した事業者に対し、自己負担分の一部を助成。
- ◆県外IT・コンテンツ系企業を対象とする企業研修の実施による県南地域への企業誘致。
- ◆人吉・球磨地域での就職を検討する生徒向けの職業体験研修の実施(地元企業のPR動画作成等)。



▲県南地域への立地に向けた企業研修



▲高校生向け職場体験研修

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

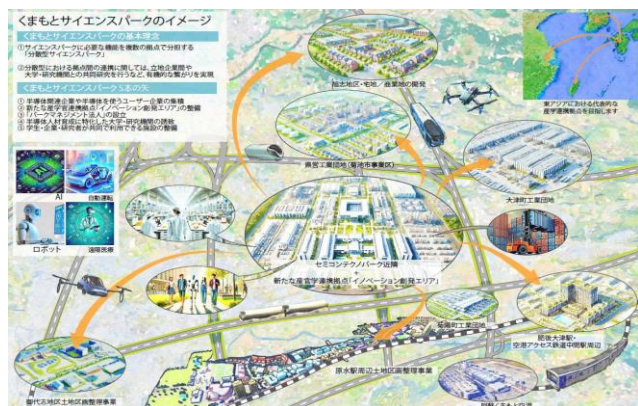
< (施策2)世界に伍する産業拠点熊本の創出 >

半導体を中心とした新たな産業基盤の構築

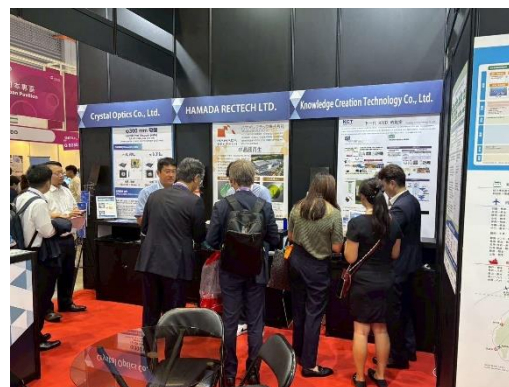
【目的】 半導体関連企業や半導体を使うユーザー企業の集積

【概要】

- ◆半導体関連分野への参入を希望する中小企業への専門家派遣による技術指導やセミナー等を新たに実施。
(企業面談74社、専門家派遣による技術指導5社)
- ◆国内外の半導体主要展示会での地場企業技術を紹介。
- ◆新設された熊本大学大学院博士課程半導体・情報理数専攻に129名の学生を受け入れ。
- ◆三次元積層実装技術の確立を目指し、熊本大学と地域企業等で構成される共同研究(10プロジェクト)が進行中
(R8.3末時点)。
- ◆くまもとサイエンスパーク実現にむけ、民間の事業推進パートナーの公募を実施。
(R8.4に三井不動産に決定、合志市とともに3者で基本協定締結)



▲くまもとサイエンスパークのイメージ



▲セミコン台湾での展示



▲中小企業向け参入セミナー

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策3)「食のみやこ熊本県」の創造 >

農林畜水産業の担い手確保・育成

【目的】 就農希望者への支援体制の充実、
安心して就農・経営発展できる支援体制の構築

【概要】

- ◆新たに「熊本県農業経営・就農支援センター」を発足。
ワンストップ型の伴走支援を展開。(就農相談:688件、
継承相談:176件、経営相談:86件)
- ◆ジョブカフェ・ランチによる、農林畜水産業への
就農希望者を含む就職希望者への相談対応。
(相談件数:3,951件、就職:679人)
- ◆新規就農者の経営発展・世代交代(機械・施設導入)を
支援(80経営体)。
- ◆青年農業者の仲間づくり、スキルアップ活動への支援
(10団体)。



▲就農相談会の様子



▲青年農業者のスキルアップ活動支援

「食の高付加価値化」の取組み

【目的】 稼げる農林畜水産業の実践

【概要】

- ◆令和7年7月、「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン
を策定。
- ◆「食のみやこ熊本シェフズアカデミー」を開催し、県産
食材の魅力を発信する県内料理人を38名育成。
- ◆東京・大阪・福岡でのエリアジャックイベントや大阪・
関西万博への出展、福岡をターゲットとした「食の
みやこフェス」の開催。
- ◆海外現地でのトップセールスや輸出に取り組む県内
事業者への支援。



▲食のみやこフェス



▲食のみやこ熊本シェフズアカデミー

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取り組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興 >

スポーツ政策の推進

【目的】 スポーツを通じた交流人口の拡大や地域の活性化

【概要】

- ◆ナショナルサイクルルート審査委員会において、天草地域の「あまいち」コースが候補ルートに選定。
- ◆「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」を踏まえ、9月に県有スポーツ施設整備の方向性を表明。
- ◆「熊本県スポーツ応援基金」の設置。
- ◆2つの国際大会の開催。
 - ・10月 ツール・ド・九州(サイクルロードレース)
 - ・11月 熊本マスタースジャパン(バトミントン)



◀「あまいち」コース

観光振興

【目的】 戦略的な誘客施策の実施、多様なニーズに対応した受入環境の整備

【概要】

- ◆熊本デスティネーションキャンペーンに向けた全国宣伝販売促進会議やPRイベントの開催。
- ◆プロジェクト開始10年となる「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」による周遊施策や記念展示の実施。
- ◆人吉・球磨地域におけるアニメ夏目友人帳のデジタルスタンプラリーの実施や、モデル地を巡るタクシープランの運行。
- ◆インバウンド需要取り込みのための各種プロモーションの実施や、「くまモンポート八代」の受入環境整備、富裕層向けクルーズ船誘致。
- ◆観光事業者の経営力強化に向けた支援や、二次交通の課題克服・周遊に向けた観光MaaSの推進。



▲全国宣伝販売促進会議(レセプション)



▲ONE PIECE熊本復興プロジェクト10年展

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興 >

文化芸術の振興

【目的】 若者の海外チャレンジ意欲の向上、将来を担う若手芸術家の育成

【概要】

◆若手芸術家7名に対して海外研修等の参加支援

【渡航先】アメリカ合衆国、中国、フランス、イタリア、ドイツ、ハンガリー

【研修分野】声楽、ピアノ、フルート、マリンバ



▲海外研修の様子



▲海外でのコンクールの様子

「阿蘇」の世界文化遺産登録に向けた取組み

【目的】 「阿蘇」の世界文化遺産登録

【概要】

◆「阿蘇世界文化遺産登録推進国際ワーキンググループ」の開催。

◆世界文化遺産としての価値の発信と登録推進への機運醸成のため、大阪・関西万博でのブース展示や大阪市内でシンポジウムを開催。



▲大阪・関西万博ブース出展



▲ワーキンググループ視察



▲シンポジウムの様子

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

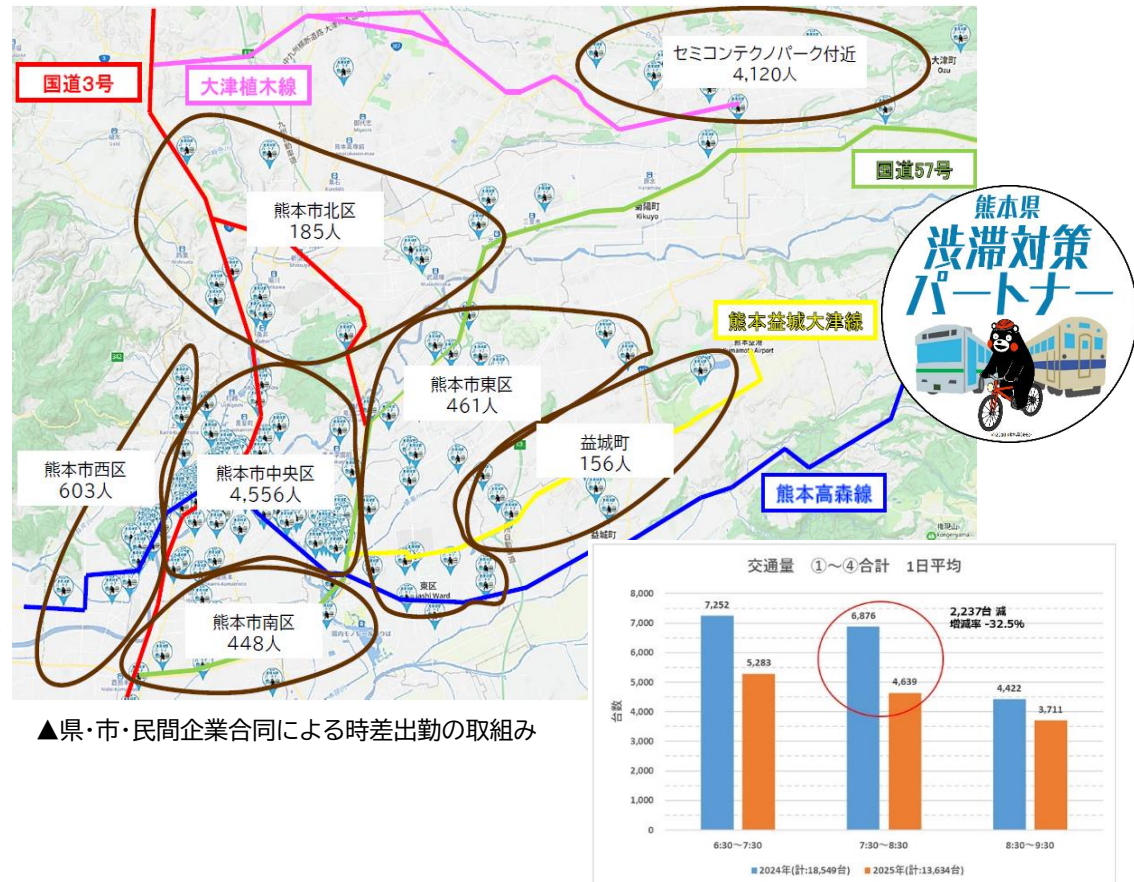
< (施策5)交通の利便性向上 >

熊本都市圏交通渋滞解消に向けたハード・ソフト対策の推進

【目的】 熊本都市圏の交通渋滞解消

【概要】

- ◆ 令和7年5月、熊本県渋滞対策パートナー登録制度を創設。
- ◆ 県・熊本市・民間企業と合同で1万人規模の時差出勤等の取組みを実施。
(朝ピーク時間帯(7時半～8時半)における交差点の交通量が最大約30%減少)
- ◆ 県が実施する19カ所の交差点改良のうち3カ所完了、6カ所着工。
- ◆ 大津植木線多車線化及び合志ICアクセス道路整備の工事着手(R7.9着工式)。
- ◆ デジタル技術を利用した渋滞実態の分析や、信号の集中制御化や信号サイクルの見直しを推進。



※上記は、Hondaフローティングデータ（1カ月）の集計に、インターネットを搭載車の熊本県シェア（推計値）にて走行車両台数を算出して示します。
例：2024年9月と2025年9月の年日の比較となります。

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策5)交通の利便性向上 >

「熊本県地域公共交通計画」の策定及び施策の推進

【目的】 県内全域における将来まで持続可能な公共交通網の構築

【概要】

- ◆令和8年3月、「熊本県地域公共交通計画」を策定。
- ◆「熊本県広域連携支援事業交付金」を創設。広域的な移動手段の導入や交通と他分野が連携した取組みを実施する市町村を支援(6市町村)。
- ◆コミュニティ交通の導入や確保を行う市町村を支援。(42市町村)



▲益城・西原空港ライナー



▲(芦北町)ふれあいツクールバス



▲熊本県地域公共交通計画

熊本空港の活性化

【目的】 阿蘇くまもと空港の機能強化、交通ネットワークの構築、空港周辺地域の渋滞緩和

【概要】

- ◆熊本国際空港(株)と連携し、国際線の新規就航(3路線)を実現。現在、6路線週46便が運航中(R8.6末時点)。
- ◆国際航空貨物上屋(保税蔵置所)の供用開始や荷主企業等を対象とした助成事業を策定。
- ◆空港アクセス鉄道ルートや鉄道整備に向けた調査・検討結果(概算事業費、需要予測、B/C等)の公表、鉄道運行に係るJR九州との合意。
- ◆県道熊本高森線4車線化の全線供用開始(R8.3.20)。



▲台中線(スターラックス)



▲熊本高森線現地供用式

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(3) いつまでも続く豊かな熊本

< (施策1)豊かな自然の保全 >

地下水量保全に向けた取組み

【目的】 地下水保全対策の推進、地下水位に関する情報の発信及び地下水量に対する県民の不安解消

【概要】

- ◆地下水の保全目標となる「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画」(R8～12年度)を県・熊本地域11市町村が協働で策定。
- ◆地下水位のリアルタイム配信の対象観測井戸の拡大。(3カ所→7カ所)
- ◆「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」の設置。



▲基金のチラシ

有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)の調査・対応

【目的】 状況把握、結果公表による県民の不安解消

【概要】

- ◆関係機関と連携し、県内129地点での地下水及び河川調査を実施。(全地点で指針値の超過なし)
- ◆県内の飲料井戸140地点で調査を実施するとともに、井戸所有者が行う水質検査費用を支援。

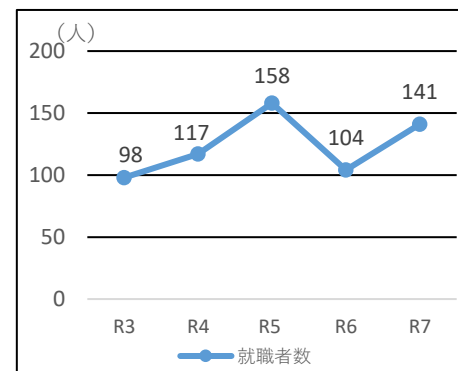
< (施策2)移住定住、関係人口創出 >

移住定住・UIJターン加速化に向けた取組み

【目的】 県外在住者のUIJターン就職の後押し及び県内への人材還流の促進

【概要】

- ◆東京、大阪、福岡及び県内のくまもと移住定住・UIJターン就職支援センターにて、県外在住求職者等への相談対応、情報提供及び就職マッチング等を支援。(就職者数141名、マッチングサイト掲載求人数2,247件)
- ◆本県へのUIJターンに繋がるイベントを実施。(33回、426人参加、うち就職決定者数28人)
- ◆県外求職者が県内企業への就職活動で来熊する際の旅費を助成。(94件)



▲センター登録者のうち実際にUIJターン就職をした人数



▲UIJターンイベント

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(3) いつまでも続く豊かな熊本

< (施策3) 魅力ある地域づくり >

地域未来創造会議の設置・開催

【目的】 地域の未来像をともに描き、地域振興・経済振興・観光振興を推進

【概要】

◆令和7年12月～令和8年3月に、県内8箇所(地域振興局単位)で、知事と市町村長、地元県議会議員等が出席する「地域未来創造会議」を開催。

開催日	地域	テーマ
R7.12.10	阿蘇	地方創生・人口減少への対応
R8.1.16	宇城	台南市との友好交流協定等を生かした今後の取組 宇城地域の振興の観点から見た交通課題等 令和7年8月豪雨からの復旧・復興
R8.1.30	天草	移住定住・二拠点居住、サイクルツーリズム推進
R8.2.2	鹿本	「健幸都市宣言」市民スポーツや温泉健幸づくりの推進
R8.2.4	上益城	各町施設の相互利用等による広域的なスポーツ振興
R8.2.9	玉名	地域公共交通の連携方法等（市町連携の広域的公共ライドシェア等）
R8.2.16	菊池	半導体関連企業集積に伴う広域的な課題への対応 （多文化共生の推進及び菊池地域の交通課題）
R8.3.23	芦北	第一次産業の活性化×観光（地域）振興

市町村の効果的な空き家対策の推進

【目的】 移住希望者等の住まいへの不安を和らげる取組

【概要】

- ◆空き家を子育て世代移住者向け町管理住宅へ改修する費用を一部助成(南小国町1棟)。
- ◆空き家対策専門家活用への助成(12市町村・延べ65人)。



▲空き家改修の様子

御所浦及び湯島の活性化に向けた取組み

【目的】 地理的ハンディキャップ軽減、離島振興策推進

【概要】

- ◆御所浦の振興(地域おこし協力隊の配置、島あじマラソン、化石採集クルージング、サンセット・ナイトクルージングモニターツアー等)
- ◆湯島の振興(峯公園環境整備、店舗等改修補助)

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(3) 世界に開かれた活力あふれる熊本

< (施策4)社会の多様性 >

障がい者の社会参加支援

【目的】 障がい者の社会参加と障がいへの理解促進

【概要】

- ◆ 障がいのある方のICT機器の日常利用をサポートする「熊本県障がい者ICTサポートセンター」を開設(R7.8)。
- ◆ 民間企業に就労継続支援事業所への発注促進を支援する「お試し発注サポート事業」を開始(8件)。
- ◆ 「農福マルシェ」の開催(参加者 約3,000人)。
- ◆ パラ・デフアスリートによる講演会の実施。
- ◆ 東京2025デフリンピックメダリスト3選手に「熊本県スポーツ特別功労賞」を授与。



▲農福マルシェ(県庁プロムナード)



▲デフアスリートによる講演会

動物愛護の推進

【目的】 「命を大切にし、やさしさあふれる人と動物が共生するくまもと」の実現

【概要】

- ◆ アニマルフレンズ熊本や保健所での保護犬・猫の譲渡を促進(犬:211頭、猫:188頭)。
- ◆ 小学生を対象とした「いのちの教室」を実施(16回、630人参加)。
- ◆ 飼い主のいない猫の避妊去勢手術実施(1,597頭)。
- ◆ 保護犬・保護猫の一時預かりボランティア制度の試行開始。(R8.3~)
- ◆ 県営住宅におけるペット共生住宅の試行について、入居者募集を開始。(R8.3~)



▲休日譲渡会



▲いのちの教室

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取組み状況(令和7年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

< (施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興 >

「緑の流域治水」の更なる推進

【目的】 球磨川流域の再生・発展

【概要】

- ◆流水型ダムに関する情報の周知及び理解促進を図るため、「ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」第4回会議を開催(R7.12.20)。
- ◆全ての災害公営住宅が完成(全12地区・282戸)。
- ◆青井被災市街地復興土地区画整理事業について、93画地(全体の約9割)で宅地造成工事に着手し、8画地(全体の約1割)について引渡しを実施。
- ◆球磨川流域の交流人口の増加や防災力の強化を図り持続可能な地域の実現を目指す「球磨川リバーミュージアム構想」を策定(R8.3)。



▲災害公営住宅(八代市坂本団地)



▲宅地造成工事(青井地区)

五木・相良村の振興

【目的】 五木村・相良村の着実な振興

【概要】

- ◆「五木村の振興を確認する場」を開催し、国・県・村で進捗及び令和8年度実施計画を確認(R8.3)。
- ◆人吉高校五木分校魅力向上の取組や県道25号・国道445号の改良、川辺川上流域の安全対策等を実施。
- ◆「相良村振興推進本部」を開催し、令和7年度取組実績及び令和8年度取組を各部局で確認・共有(R8.2)。
- ◆国道445号の整備や川辺川の河川改修、農業農村整備などの基盤整備、企業誘致に繋がる取組みへの支援等を実施。



▲国道445号の改良(五木村)



▲川辺川の護岸整備(相良村)

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取り組み状況(令和7年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

< (施策2)災害に強い県土づくり >

防災力・災害対応力の強化

【目的】 防災力・災害対応力強化、各種施設等機能強化

【概要】

- ◆ 市町村や関係機関と連携した豪雨対応訓練を実施するとともに、令和7年8月豪雨の初動対応の検証を行った。
- ◆ 県社協や関係団体と定期的な連携会議や官民連携による被災者支援体制整備モデル事業を実施。
- ◆ 南海トラフ地震に備えるとともに、九州を支える広域防災拠点としての体制整備を図るため、国や九州各県等と連携し広域応援訓練を実施。
- ◆ 内閣府とプッシュ型支援用物資の備蓄保管に関する協定締結により、消防学校備蓄倉庫に物資搬入完了。
- ◆ 防災拠点としての機能強化に向け、多良木警察署及び八代警察署坂本駐在所(R8.3.30運用開始)の新築整備事業を推進。



▲広域応援訓練の様子



▲八代警察署坂本駐在所

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取り組み状況(令和7年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

< (施策3)健康で長寿な社会の実現 >

人生100年時代の充実に向けた体制づくり

【目的】 医療・福祉・介護職員の人材確保・育成と医療・介護提供体制の確保

【概要】

- ◆医師修学資金貸与制度や中高生に対する看護の魅力等の発信等。
- ◆福祉人材・研修センターと連携した資格取得支援や外国人への日本語学習支援、住居借上げ支援等。
- ◆介護現場の業務効率化等の取り組みをワンストップで支援する「くまもと介護テクノロジー・業務改善サポートセンター」を設置(R7.4)。
- ◆県看護協会と連携した訪問看護提供体制の強化。
- ◆薬学部生への地域医療実習や子ども向けの薬剤師体験の実施。



▲高校生一日看護体験



▲サポートセンターにおける伴走支援



▲薬学部生地域医療研修
(医療MaaS体験)

高齢者の就労機会の拡大

【目的】 高齢者が能力を発揮し、
社会で活躍できる環境整備

【概要】

- ◆高齢者雇用を考えている県内企業を対象にセミナーを開催。(参加:53社)
- ◆県シルバー人材センター連合会への運営費を助成。



▲県内企業向けセミナー

2. 県総合戦略に係る4つの柱の取り組み状況(令和7年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

< (施策4)安全・安心の地域づくり >

良好な治安の維持

【目的】 治安水準の更なる向上、安全で快適な交通環境の確立

【概要】

- ◆「電話で『お金』詐欺」や「SNS型投資・ロマンス詐欺」等の被害防止のため、「ワルモン」の活用やSNSなどを利用した広報啓発活動を推進。
- ◆「県警こども見守り・訪問隊」によるこども見守り活動の実施(863か所)や、交通安全教育の実施(317回)。
- ◆新たな犯罪インフラ等に対応した資機材の継続運用や、産学官連携によるサイバーセキュリティ対策の推進。
- ◆防犯カメラ70台の継続運用や、「ゆっぴー安心メール」による地域防犯情報等の発信(R7年中1,029回)。



▲「電話で『お金』詐欺」防犯講話



▲交通安全教育

消費者被害の未然防止

【目的】 県民の消費生活の安定と向上

【概要】

- ◆多様な主体と連携した消費生活出前講座の実施(80件、6,777名受講)。
- ◆県消費生活センターにおける令和7年度の救済額は約8,000万円。

< (施策5)水俣病問題への対応 >

水俣病問題への対応

【目的】 患者等の支援、水俣病の歴史・教訓の発信

【概要】

- ◆社会福祉法人等が行う胎児性・小児性水俣病患者等への在宅サービスの提供に対する助成。
- ◆百間排水口周辺を再現するデジタルコンテンツ作成や小中高生や教職員向け啓発の実施。



▲小学校啓発の様子

3. KPIの状況等と今後の取組みの方向性

◆ 令和8年7月末時点で実績が判明しているKPI 57項目のうち、過半数(56.1%)にあたる32項目で令和7年度の目安(※)に到達する中、人材確保関係のKPIについては7項目中3項目(42.9%)の達成にとどまる。
※令和9年度目標値を戦略期間(4年間)で案分して算出した参考値。

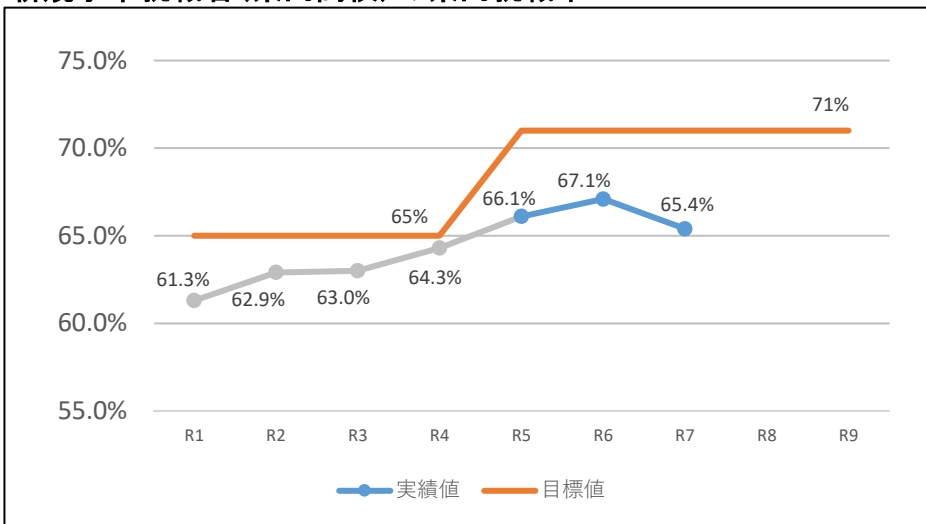
施策の柱	KPI項目数	うち 実績判明 (R8.7末時点)	R7年度目安 に達した KPI	R7年度目安 に達していな いKPI	その他※
1 こどもたちが笑顔で育つ熊本	9	7	1	4	2
2 世界に開かれた活力あふれる熊本	33	29	18	11	0
3 いつまでも続く豊かな熊本	7	6	3	2	1
4 県民の命、健康、安全・安心を守る	17	15	10	5	0
合 計	66	57	32/57 (56.1%)	22/57 (38.6%)	3/57 (5.3%)

※戦略策定に際し、新たに取得を始めた指標

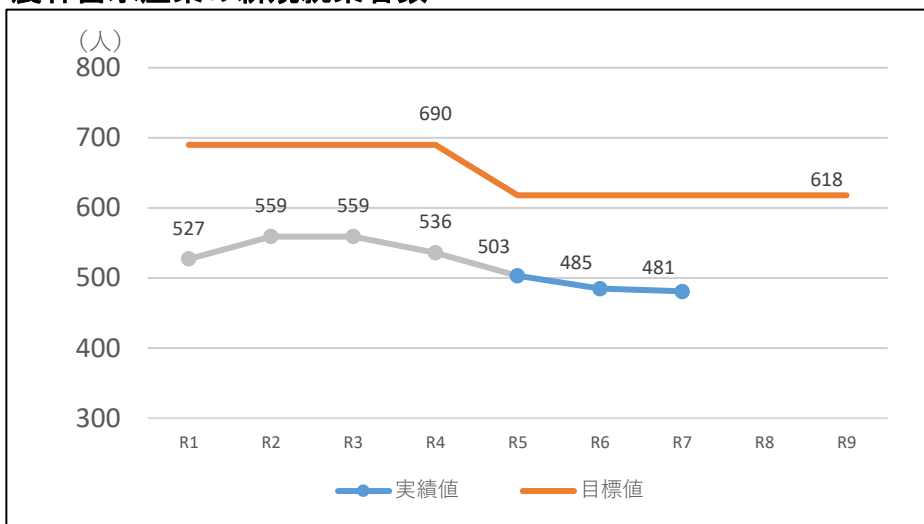
3. KPIの状況等と今後の取組みの方向性

◆ 人材確保関係のKPIのうち、令和7年度の目安に達していないものは以下のとおり。

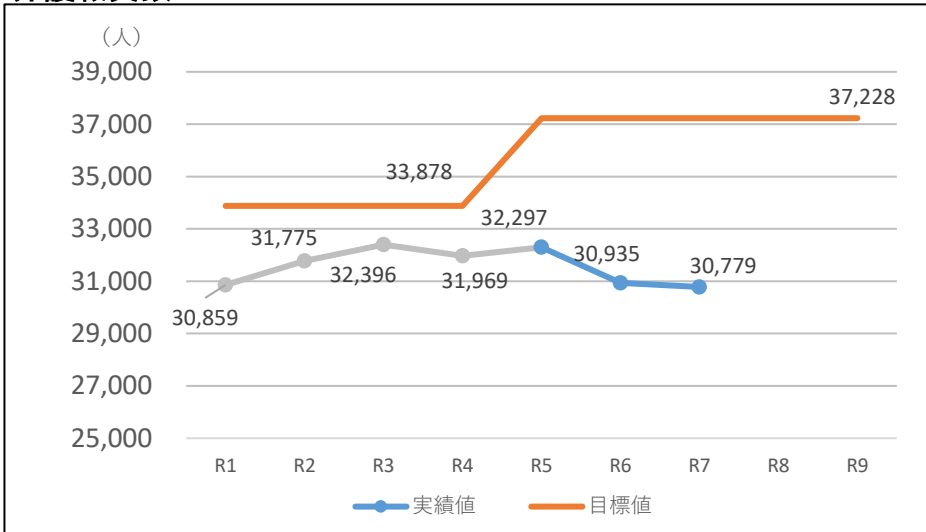
新規学卒就職者（県内高校）の県内就職率



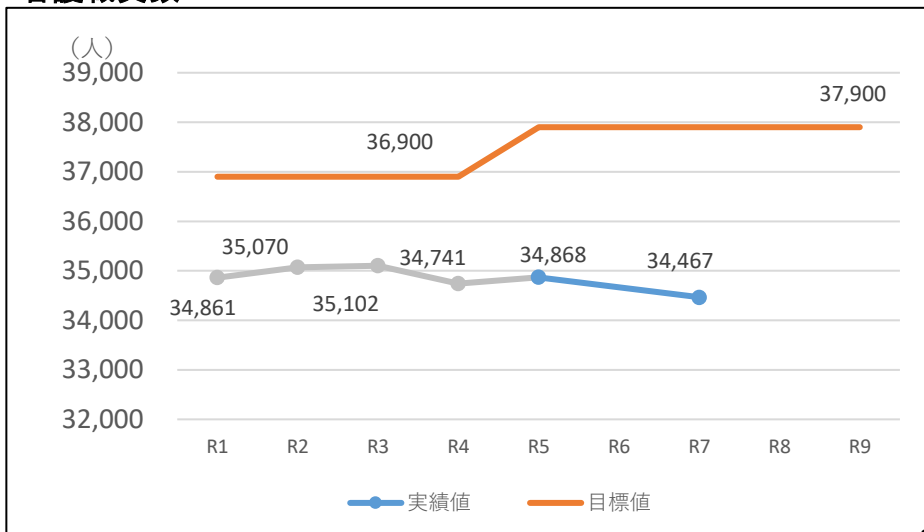
農林畜水産業の新規就業者数



介護職員数



看護職員数

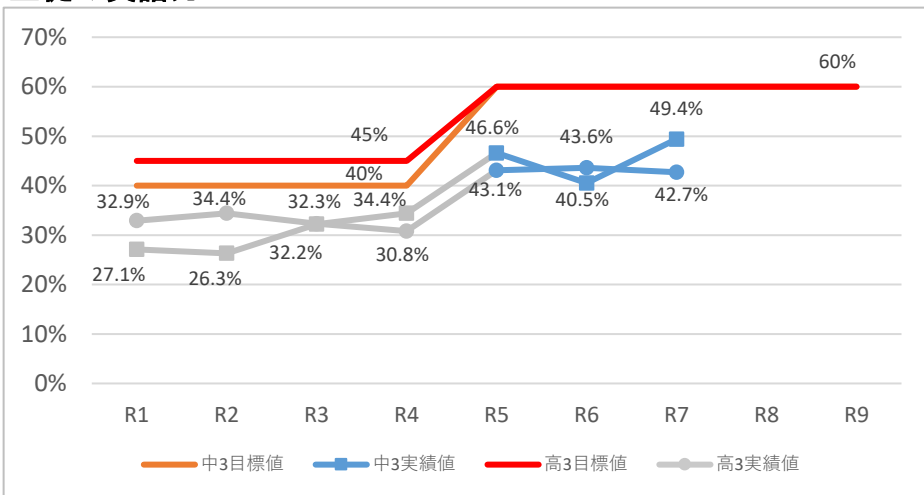


※グレー部分は前の総合戦略における実績値。

3. KPIの状況等と今後の取組みの方向性

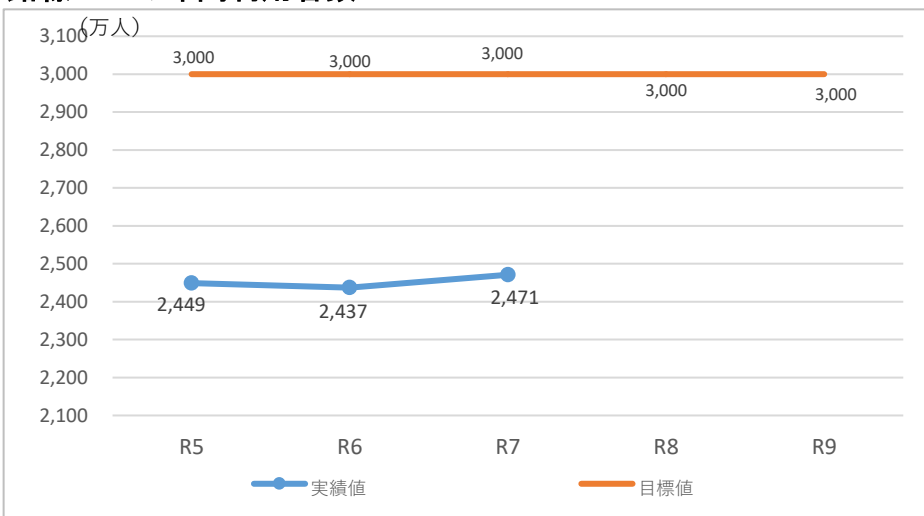
◆ その他、人材育成や人口、担い手不足に関わるKPIについてもR7目安に達していないものがある。

生徒の英語力



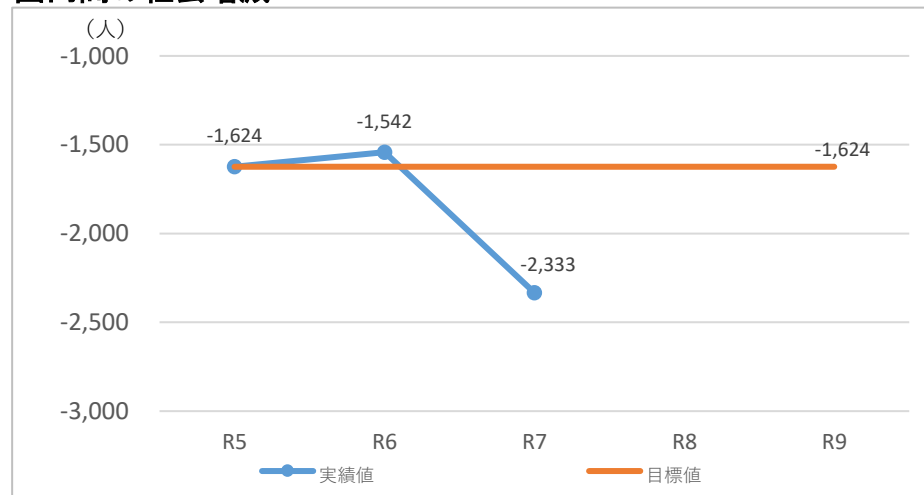
※それぞれ一定レベル以上を達成した生徒の割合

路線バスの年間利用者数



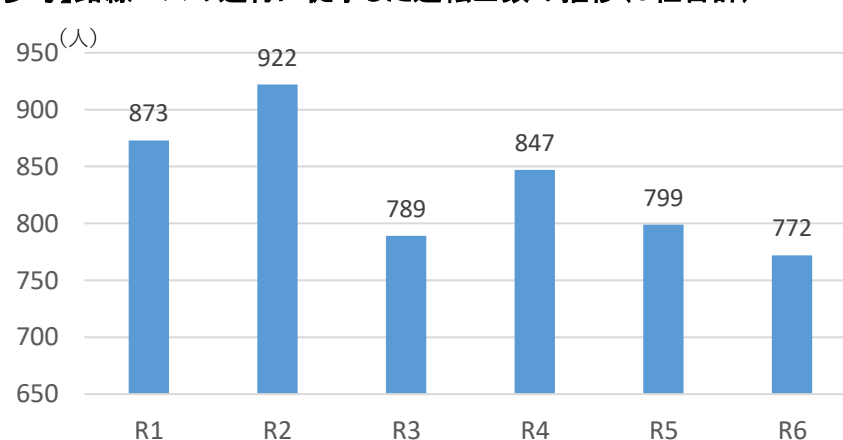
運転士不足等に起因した
減便・路線廃止

国内間の社会増減



※令和5年度の水準を維持するとの目標

【参考】路線バスの運行に従事した運転士数の推移(5社合計)

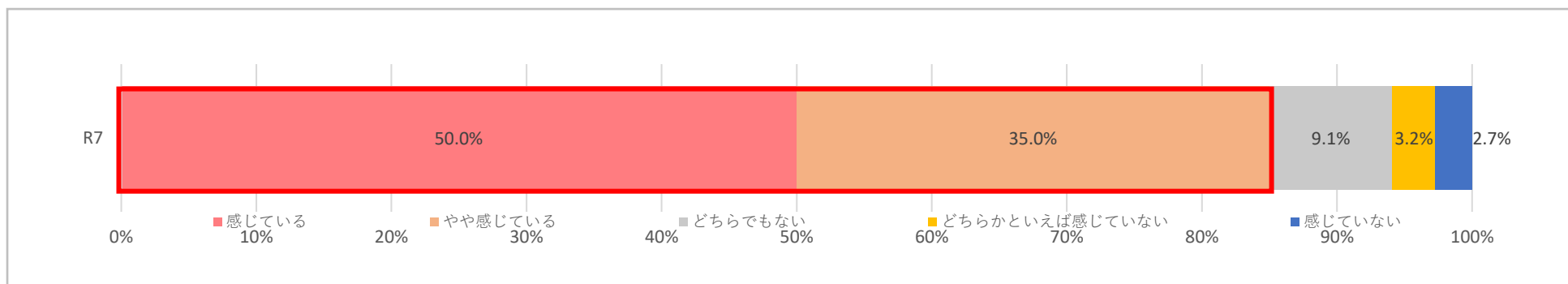


【出典】熊本地域路線バス共同経営推進室
「熊本市内路線バス事業に関するデータ公表について」より作成

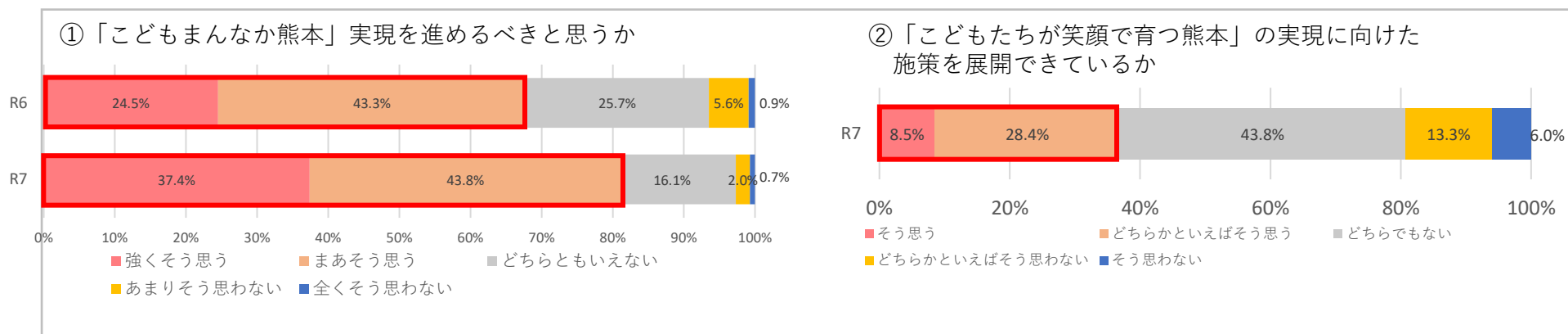
3. KPIの状況等と今後の取組みの方向性

- ◆ 県民アンケートの結果のうち、「人材不足や担い手不足が深刻化している」と感じる割合は85.0%であり、人材確保に向けた更なる施策の展開が必要。
- ◆ 『こどもまんなか熊本』の実現を進めるべきという意見が昨年度と比較して増加。一方で、「こどもたちが笑顔で育つ熊本」の実現に向けた施策が展開できていると回答した割合は36.9%にとどまっている。

(1) 人材不足・担い手不足



(2) 『こどもまんなか熊本』の実現

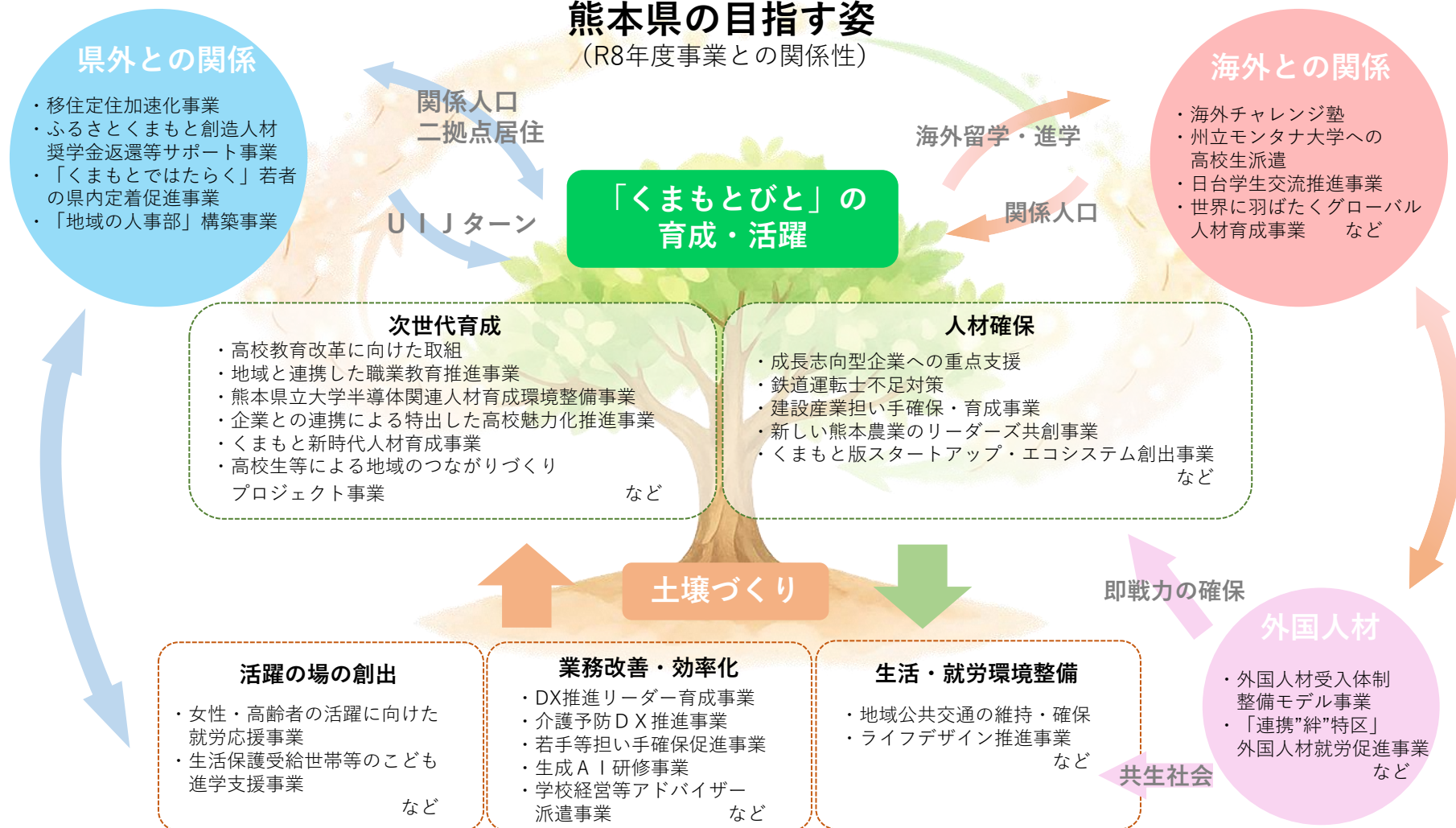


3. KPIの状況等と今後の取組みの方向性

- ◆ 県としては、総合戦略の最終年度(令和9年度)を見据え、県民が安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる、世界に挑戦する県、「くまもと新時代」の実現に向けた取組みにより、KPIの着実な達成を図る方針。
- ◆ 特に、地域への愛着やグローバルな視野、チャレンジ精神を持ちながら貢献できる人材“くまもとびと”の育成と活躍のに向けて、「次世代育成と人材確保」と「安心して暮らし、活躍できる環境の整備」を重点として施策を展開していく。

熊本県の目指す姿

(R8年度事業との関係性)



- ◆ これまでの地方創生に関する取組みを踏まえつつ、「地方創生に関する総合戦略」で整理した施策を基盤に、「強い地域経済」の構築に重点を置いた全体戦略として、本年7月に取りまとめられたもの。

目標

47都道府県のどこに住んでいても、安全に生活することができ、必要な医療・福祉や質の高い教育を受けることができ、働く場所がある社会を実現する。

政策目標

強い地域経済の構築

- ・17の戦略分野における官民投資を推進する成長戦略との連携のもと、地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成
- ・地域の大きな伸び代である多様で魅力ある地域資源を最大限に活用し、地場産業を含む地域の産業、地域経済の持続的な成長を図る。

豊かな生活環境の実現

- ・持続可能な生活インフラの実現
- ・地域の暮らしの満足感向上

選ばれる地方の実現

- ・魅力が感じられる地方の実現

施策

- ・産業クラスター形成に伴う高付加価値型産業創出
 - A 戦略産業クラスター計画
17の戦略分野に関連する企業の大規模投資を起点とする産業クラスター
 - B 地域産業クラスター計画
都道府県が主導し、形成を進める産業クラスター
 - C 地場産業成長プラン
市町村が主導する地場産業を含む地域の産業を育成
- ・地域の産業クラスター・地場産業を支える仕組みづくり
(計171施策)

- ・公共交通の維持
- ・買物環境の維持
- ・インフラの維持
- ・災害対応の強化の促進
- ・満足できる子育て、医療、介護、福祉サービスの実現
- ・持続可能なまちづくり (計121施策)

- ・多様性に富んだ地方の実現
- ・地域の男女共同参画・女性活躍の推進
- ・教育環境整備の推進
- ・都市と地方の共生の実現
- ・地方への移住推進 (計63施策)

横断的施策

人的支援・人材育成／情報支援・デジタルツールの整備／規制・制度改革／財政・金融による支援等／その他 (計23施策)

- ◆ 九州地域を単位として国が策定する戦略クラスター計画について、国と連携して取り組むプロジェクトを提案するとともに、半導体及び半導体ユーザー産業等の分野ごとの産業クラスターの形成と、地場産業の付加価値の向上等に向けた地域産業成長プランを策定し、重点支援企業への支援等を行う。

【国策定】

戦略産業クラスター計画

(熊本県からプロジェクト案を提案)

【熊本県策定】

地域産業成長プラン

【A 戦略産業クラスター計画】

熊本県からは、民間の大規模投資を踏まえ、以下の3分野の産業クラスター形成を推進し、必要なインフラ整備に国と連携して取り組むプロジェクトを提案。

<戦略分野(関連民間投資)と主な取組み>

- 1 AI・半導体（先端半導体等への投資）
 - 道路・鉄道等の交通ネットワーク、工業用水、公共下水道の整備
 - くまもとサイエンスパークの整備
 - 熊本県立大学「半導体学部(仮称)」学部棟の新設 等
- 2 造船（次世代船舶建造への投資）
 - 長洲港関連施設の整備 等
- 3 合成生物学・バイオ(製薬関連への投資)
 - 新産業創出のための拠点整備 等

【B 地域産業クラスター計画】

地域の資源・技術を活用し、国内で上位シェアを目指すなど、地域経済への波及効果が期待できる企業を支援。

【C 地場産業成長プラン】

魅力あふれる地域資源について、付加価値向上と地産外商の推進を図る。

<分野>

- 1 半導体産業と半導体ユーザー産業
- 2 「食のみやこ熊本県」の創造とライフサイエンス産業
- 3 観光交流関連産業

※ 県が公募により重点支援企業を選定する。重点支援企業に対しては、県が伴走支援を行う他、国(関係省庁)の支援施策での審査上の考慮が行われる。

※ プランに記載された施策は、国の地域未来交付金の優先採択等の対象となることから、市町村と連携し、県・市町村の関係施策を幅広く位置付ける。

1 こどもたちが笑顔で育つ熊本

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a+((b-a)/4)*2$	目標値 (R9(2027)) (b)
1	1	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の割合	小学校(公立) 47.2% 中学校(公立) 38.8%	小学校(公立) 52.0% 中学校(公立) 45.2%	小学校(公立) 51.1% 中学校(公立) 46.9%	小学校(公立) 中学校(公立) ともに 55.0%
	2	「こどもまんなか熊本」の実現を進めるべきと強く思う県民の割合	—	37.4%		55%
	3	こどもの居場所の数(こども食堂)	170ヵ所	213か所	200ヵ所	230ヵ所
2	4	子育てができる・したいと思える環境が整っていると感じる県民の割合	—	32.9%		70%
3	5	「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う児童生徒の割合(小中学生)	小学校(公立) 74.8% 中学校(公立) 73.3%	小学校 76.5% 中学校 69.9%	(小学校(公立) 74.8% 中学校(公立) 73.3% ※現状値を目安	毎年前年度を上回る
	6	探究的な学びにおいて、整理や分析を踏まえて、自分の考えを分かりやすくまとめ、発表した生徒の割合(高等学校)	86.5%	集計中	93.25%	100%
	7	地元自治体や企業・大学等と連携した教育活動の回数(年20回)を達成した学校の数	50校中26校 (52%)	50校中30校 (60%)	50校中33校 (66%)	50校中40校 (80%)
	8	①30歳未満の旅券発行率 ②15歳以上30歳未満の出国率	①3.30% ②8.57%	集計中	①3.80% ②13.18%	①4.3% ②17.8%
	9	生徒の英語力 (中学3年生でCEFRのA1レベル相当(英検3級など)以上を達成した生徒の割合 高校3年生でCEFRのA2レベル相当(英検準2級など)以上を達成した生徒の割合)	中3 46.6% 高3 43.1%	中3 49.4% 高3 42.7%	中3 53.3% 高3 51.5%	中3 60% 高3 60%

2 世界に開かれた活力あふれる熊本

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a+((b-a)/4)*2$	目標値 (R9(2027)) (b)
1	10	新規学卒就職者(県内高校)の県内就職率	66.1%	65.4%	68.5%	71%
	11	ブライト企業に就職した新卒学生数	6,991人/4年	2,574/年	2,075人/年	8,300人/4年
2	12	製造品出荷額	3兆4,785億円/年 (R4(2022))	集計中	4兆92億円/年	4兆5,400億円/年
	13	半導体関連産業生産額	1兆2,028億円/年 (R4(2022))	集計中	1兆3,579億円/年	1兆5,130億円/年
	14	企業立地件数(立地協定締結)	53件/年 (過去5年平均)	31件/年	54件/年	55件/年
	15	IT関連産業の売上高	708億円/年(R3(2021))	集計中	884億円/年	1,060億円/年
	16	UXプロジェクトにおける新事業創出に向けた伴走支援数	16事業/4年	11事業/年	5事業/年	20事業/4年
	17	県の施策を通じて創業・第二創業を行った企業数	20社/4年	5社/年	6社/年	24社/4年
	18	県の施策を通じてデジタル技術を活用した県内企業(製造業)の新たな取組み件数	85件/4年	86件/年	26件/年	104件/4年
	19	DXに取り組んでいる企業の割合	44.9%	62.8%	59.9%	75.0%
	20	エリア・データ連携基盤を活用した民間事業者数	0 事業者	15事業者	12事業者	24事業者
	21	県内港国際コンテナ貨物取扱量	33,857TEU/年	34,304TEU/年	39,528TEU/年	45,200TEU/年
	22	地域日本語教室設置市町村数	15市町村	16市町村	17市町村	19市町村
	23	くまモン関連商品売上高	累計1兆4,596億円	累計1兆7,725億円	累計1兆7,298億円	累計2兆円

2 世界に開かれた活力あふれる熊本

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a + ((b-a)/4) \times 2$	目標値 (R9(2027)) (b)
3	24	6次産業化関連販売金額	861億円/年 (R4(2022))	1,048億円/年	896億円/年	931億円/年
	25	農林畜水産物等の輸出額	122.4億円/年	集計中	131.2億円/年	140億円/年
	26	農林畜水産業の新規就業者数	503人/年(R4(2022))	481人/年	560人/年	618人/年
	27	農業分野における外国人材（技能実習生、特定技能外国人材）の受入人数	5,457人	6,805人	6,228人	7,000人
	28	稼げる農業経営体(販売金額1,000万円以上)の割合	22.7%	22.6%	25.35%	28.0%
	29	水稻栽培におけるスマート農業活用面積の割合	25%	30%	30.0%	35%
	30	スマート林業技術等を導入した事業体の割合	18%	25%	24%	30%
	31	スマート養殖技術を導入した事業者数	6事業者	15事業者	9事業者	12事業者
	32	農福連携コーディネート事業でのマッチングにおける福祉事業所の新規契約件数	19件/年	12件	19件/年	75件/4年

2 世界に開かれた活力あふれる熊本

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a + ((b-a)/4) * 2$	目標値 (R9(2027)) (b)
4	33	観光消費額	3,172億円/年 (R4(2022))	3,796億円 (R6(2024))	3,741億円/年	3,750億円/年
	34	国際スポーツ大会開催による誘客数	約40,000人/年	約69,000人/年	41,000人/年	42,000人/年
	35	外国人延べ宿泊者数	100万人/年	1,762,050人	105万人/年	110万人/年
	36	富裕層向けクルーズ船の寄港数	5回/年	27回/年	15回/年	25回/年
	37	スポーツ実施率(週1回30分以上運動する割合)	57.3%	55.8%	63.6%	70%
	38	若手芸術家海外チャレンジ事業を活用した海外への派遣者数	58人	72人	68人	78人
5	39	路線バスの年間利用者数	2,449万人	2,471万人/年	2,724万人	3,000万人
	40	渋滞時における自動車の平均旅行速度	18.6km/h	18.8km/h	19.3km/h	20.0km/h
	41	セミコンテクノパーク周辺の渋滞解消に寄与する道路整備の進捗	11.9km (延長・車線数)	16.5km	15.9km	20km (延長・車線数)
	42	阿蘇くまもと空港国際線旅客者数	約23万人/年	64万人/年	54.5万人/年	86万人/年

3 いつまでも続く豊かな熊本

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a + ((b-a)/4) * 2$	目標値 (R9(2027)) (b)
1	43	半導体関連企業の集積を見据えた かん養対策によるかん養量	200万 m ³	1,545万 m ³	600万 m ³	1,000万 m ³
	44	廃棄物の再生利用率	18.1% (R4(2022))	17.9% (R6(2024))	23.0%	28.0%
2	45	国内間の社会増減	△1,624人	△2,333人	△1,624人	R5(2023)の実 績値を維持
	46	くまもと移住定住・UIIターン就職 支援センター登録者におけるUII ターン就職者数	445人/4年	141人/年	130人/年	520人/4年
3	47	阿蘇草原の面積(牧野における野草 地面積)	14,850ha		14,850ha	14,850ha
	48	各地域の未来像の実現に向けた取 組みの件数	—	2	5	10件
4	49	固定的性別役割分担意識に同感し ない県民の割合	82.9%	84.0%	83.95%	85.0%

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a)	R7(2025) 実績値	R7目安 $a + ((b-a)/4) \times 2$	目標値 (R9(2027)) (b)
1	50	球磨川水系河川整備率（県管理区間）	47.4%	53.0%	50.1%	52.8%
2	51	高規格道路の整備進捗率	50.7%	53.0%	52.9%	55%
	52	緊急輸送道路の防災点検要対策箇所の整備箇所数	50ヵ所	52ヵ所	52ヵ所	55ヵ所
	53	土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数	72件/4年	8件/年	20件/年	80件/4年
	54	田んぼダム of 取組み面積	617ha	775ha	693ha	770ha
	55	県が育成した防災士の資格取得者数	1,759人	2,062人	2,029人	2,300人
	56	自主防災組織の定期的な活動率	68.8%	集計中	74.4%	80.0%
3	57	日常生活動作が自立している期間の平均	男性：79.9歳 女性：84.2歳 (R4(2022))	集計中	男性：80.1歳 女性：84.6歳	男性：80.4歳 女性：85.0歳
	58	看護職員数	34,868人 (R4(2022))	34,467人 (2024)	36,384人	37,900人
	59	介護職員数	32,297人 (R4(2022))	30,779人 (2024)	34,762人	37,228人
	60	介護ロボット・ICT機器を導入している入所系施設の割合	44.4%	52.6%	52.2%	60%
	61	くまもとメディカルネットワークに参加している県民数	119,269人	175,117人	179,634人	240,000人
	62	包括的な支援体制を構築している市町村数	10市町村	27市町村	27市町村	45市町村
	63	新興感染症対応に係る確保病床数	0床	918床	565床	1,131床
	64	新興感染症対応に係る発熱外来対応機関数	0機関	668機関	388機関	777機関

4 県民の命、健康、安全・安心を守る

※黄色塗りつぶし箇所：R7目安に達しているKPI

施策	No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安 $a + ((b-a)/4) * 2$	目標値(R9(2027)) (b)
4	65	刑法犯認知件数	6,174件/年	7,529件/年	(6,722件/年) ※昨年度実績値を目安	前年比減
	66	交通事故死傷者数	4,177件/年	3,637件/年	3,683件/年 ※昨年度実績値を目安	前年比減

【基本理念】 県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の実現

No.	評価指標	現状(R5(2023) (a))	R7(2025) 実績値	R7目安	目標値(R9(2027)) (b)
67	幸せだと感じている県民の割合 (県民アンケート)	73.8%	75.3%	(73.8%) ※昨年度実績値を目安	前年比増

地方創生関係交付金の活用

令和8年（2026年）8月

熊 本 県

プロジェクト一覧（令和7年度実施分）

第2世代交付金

＜事業費ベース＞

No.	プロジェクト名	事業分野	事業計画期間	実績額(千円)
1	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト	まちづくり	R3～R7年度	58,954
2	くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト	ローカルイノベーション	R3～R7年度	29,397
3	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	農林水産	R3～R7年度	87,042
4	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	農林水産	R3～R7年度	48,627
5	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	観光振興	R3～R7年度	80,032
6	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	農林水産	R4～R8年度	73,480
7	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	ローカルイノベーション	R4～R8年度	94,521
8	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	ローカルイノベーション	R4～R8年度	25,525
9	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	地方への人の流れ	R4～R8年度	86,815
10	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト	ローカルイノベーション	R4～R8年度	34,874
11	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト	観光振興	R4～R8年度	77,816
12	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト	農林水産	R5～R9年度	56,582
13	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト	観光振興	R5～R9年度	61,561
14	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト	地方への人の流れ	R5～R9年度	130,942
15	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材型	R5～R9年度	51,284

プロジェクト一覧（令和7年度実施分）

第2世代交付金

<事業費ベース>

No.	プロジェクト名	事業分野	事業計画期間	実績額(千円)
16	半導体産業と農業の共存共栄！くまもとの産業持続化環境整備プロジェクト	農林水産	R6～R8年度	107,198
17	五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した”ひかり輝く”新しい五木村の実現！ グリーン成長加速化総合対策プロジェクト	まちづくり	R6～R8年度	16,469
18	若者の定着・関係人口創出プロジェクト	地方への人の流れ	R6～R8年度	59,340
19	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業	移住・起業・就業型	R6～R9年度	79,169
20	くまもと新時代を勝ち抜くための企業成長プロジェクト	地方経済の創生	R7～R9年度	170,920
21	稼げる農林水産業の実現プロジェクト	地方経済の創生	R7～R9年度	86,518
22	地域の歴史・文化による魅力創出・周遊型観光地化プロジェクト	地方経済の創生	R7～R9年度	70,133
23	九州ど真ん中！！アーバンスポーツ聖地化プロジェクト	生活環境の創生	R7～R9年度	28,998
合計(No.1～No.23)				1,259,628

○K P I（重要業績評価指標）の達成状況

<令和7年度時点におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
23	82	52	7	6	5	12

No.1【球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	58,954千円 (29,477千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携 中枢都市等のまちづくり分野
目的 (効果)	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備 ・微生物の分離収集・解析・保管等の実施 (需用費、使用料) 11,265千円 ○球磨焼酎のリブランディング ・情報発信ツール (ブランドブック等) の制作等 (委託料) 21,624千円 ・イベント・フェアによる球磨焼酎ファンの拡大等 (補助金) 15,055千円 ○森林資源活用による森林サービス産業の創出 ・森林サービス産業創出に向けたプラン作成、実証等 (補助金、事務費)3,018千円		 微生物の分離 優良菌株選抜 新商品開発支援 醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備
KPI達成状況 (R7年度時点)	①球磨焼酎の出荷量 目標値：+12,481kl ⇒ 実績値：▲1,782kl (目標値の達成は5割未満) ②人吉・球磨地域の延べ入込客数 目標値：+3,005,500人 ⇒ 実績値：集計中 ③外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数 目標値：+51回 ⇒ 実績値：+54回 (目標値を達成) ④アーカイブ化のための資料収集件数 目標値：20.0万件 ⇒ 実績値：12万件 (目標値の5割以上を達成)		

No.2【くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	29,397千円（14,698千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○オープンイノベーションに必要な連携体の構築等の支援 ・県内企業と大学が有する技術シーズなどから将来有望なテーマの掘り起こしや支援の実施（委託料）9,054千円 ・食と健康、医工連携に係る専門知識を有するアドバイザーを配置し、県内企業の商品開発や国内販路開拓を進めるための助言（委託料）1,748千円 ○製品・技術開発への支援 ・新たな製品や技術の開発を支援（補助金）18,574千円		 半導体サプライチェーン強化 合同研究会
KPI達成状況 (R7年度時点)	①プロジェクトにおける共同研究等の件数 目標値：+18件 ⇒ 実績値：+24件（目標値を達成） ②戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）等の採択件数 目標値：+11件 ⇒ 実績値：集計中 ③プロジェクトにより課題解決につながった件数 目標値：+300件 ⇒ 実績値：+327件（目標値を達成）		

No.3【SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による 阿蘇地域の持続的発展プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	87,042千円 (43,521千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○放牧草地の生産性維持・担い手確保の促進 ・放牧サポーターの就農・移住定住に向けた支援等 (補助金) 2,991千円 ○世界文化遺産登録に向けた理解醸成・磨き上げ ・「阿蘇」の世界文化遺産としての価値の整理に向けた学術検討や現地視察、ワーキンググループの実施 (委託料、一般需用費) 29,634千円		 
KPI達成状況 (R7年度時点)	①草原再生面積 (野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) 目標値: +1,005ha ⇒ 実績値: +599ha (目標値の5割以上を達成) ②阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 目標値: +60社 ⇒ 実績値: +47社 (目標値の7割以上を達成) ③草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数 目標値: +2,780人 ⇒ 実績値: +4,330人 (目標値を達成) ④阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 目標値: +55.0% ⇒ 実績値: +57.0% (目標値を達成)		

No.4【地域の農林水産業を元気に!くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	48,627千円 (24,314千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費	○県南フードバレーを支える人材づくりと地域を牽引する体制づくり ・若手経営者や経営者への講座（経営塾）の実施や受講者を中心とした新ビジネス創出支援（負担金）5,494千円 ○地域事業者の販路多角化支援 ・大都市圏等における展示商談会への出展支援や地域事業者と首都圏等バイヤーによるオンライン商談の推進（負担金）12,704千円		 人材育成（経営塾）  施設整備(無洗米装置及び少量計量包装機)
KPI達成状況 (R7年度時点)	①当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額 目標値：+1,530,400千円 ⇒ 実績値：+3,442,699千円（目標値を達成） ②地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引（契約）件数 目標値：+200件 ⇒ 実績値：+466件（目標値を達成） ③地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引（契約）件数 目標値：+15件 ⇒ 実績値：+9件（目標値の5割以上を達成）		

No.5 【くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	80,032千円 (40,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光振興 (DMO) 等の観光分野
目的 (効果)	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○デジタル技術を活用した観光マーケティング手法の確立 ・コンテンツ制作、デジタルプロモーションの実施・分析等 (負担金) 28,541千円 ○スマート観光交通体系構築推進事業 ・観光と交通の構築・改善に必要なデータの整備・収集等 (負担金) 20,961千円 ○地域の活性化を牽引する観光拠点づくり ・宿泊施設、観光施設及び観光消費拡大につながる特産品製造施設等の整備への補助 (補助金) 10,000千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数 目標値：+473,600人 ⇒ 実績値：+876,797人 (目標値を達成) ②新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数 目標値：+26人 ⇒ 実績値：+18人 (目標値の5割以上を達成) ③新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 目標値：+29本 ⇒ 実績値：+49本 (目標値を達成)		



事業イメージ

No.6【「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	73,480千円（36,740千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的（効果）	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現し、食料の安全保障を強化するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行うことで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○有機農業技術の確立と地域環境づくり ・病虫害防除技術の実証等（委託料等）15,656千円 ○地産地消やSDGsに対する機運醸成と消費意欲の向上 ・地産地消推進基盤の強化等（委託料等）14,036千円 ○商品の磨き上げとマーケティング力の向上 ・テストマーケティングの実施等に対する補助（補助金）7,667千円 ○首都圏等への販路拡大 ・首都圏百貨店と連携した熊本フェア開催等（委託料等）21,611千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①有機農業に取り組む農業者数 目標値：+109人 ⇒ 実績値：+127人（目標値を達成） ②県地産地消ホームページの閲覧数 目標値：+13,800PV ⇒ 実績値：+78,400PV（目標値を達成） ③伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益から年率1%以上向上した中小企業者数 目標値：+96社 ⇒ 実績値：+97社（目標値を達成）		



No.7【産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	94,521千円 (47,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的 (効果)	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野（医療、健康、農業等）を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年春の新ターミナルビル供用開始に向けたPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。		
事業概要・ 主な経費	○UXプロジェクトの推進 94,521千円 ・各種イベントの開催、情報発信（委託料等） ・マッチングプログラムの実施、協業等を促進するコーディネーターの配置等（委託料等） ・テクノロジーパーク内の先行的な交流拠点施設の管理運営（委託料及び賃借料） ・支援機関、大学、民間事業者等と連携した研究開発型スタートアップの掘り起こしや創業、研究開発支援（委託料等）		 The image shows the 'UX Project' logo on the left, which includes the text 'UX Project' and '熊本の強みであるライフサイエンス分野'. To the right is a graphic titled '「UX」に込めた想い' (Thoughts put into 'UX') with a diagram showing connections between 'YOU' (local people), 'ME' (local businesses), and 'CROSS' (local people and businesses). Below the graphic is a group photo of project members posing in front of a building.
KPI達成状況 (R7年度時点)	①UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数 目標値：+23件 ⇒ 実績値：+26件（目標値を達成） ②UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数 目標値：+210者 ⇒ 実績値：+434者（目標値を達成） ③阿蘇くまもと空港の利用者数 目標値：+365万人 ⇒ 実績値：+251万人（目標値の5割以上を達成）		

No.8【世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	25,525千円（12,763千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させることで、地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費	○輸出先進モデル育成支援 ・輸出規制対策や新市場開拓等の先駆的取組に挑戦する個別事業者への支援（補助金）5,160千円 ○デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・地域の事業者への高い経済波及効果が見込まれる事業に対する支援（補助金）20,365千円 ※以下のような地域経済牽引事業への支援を想定 ・AI・IoTを活用した実験動物の行動解析システムの開発 ・塩分吸着技術を利用した商品の開発・製造設備の導入 ・食品製造工場におけるDX化を推進し情報流通の適正化		 商談会の様子
KPI達成状況 (R7年度時点)	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 目標値：+548,100千円 ⇒ 実績値：集計中 ②オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数 目標値：+12件 ⇒ 実績値：+16件（目標値を達成） ③規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数 目標値：+36件 ⇒ 実績値：+30件（目標値の7割以上を達成）		

No.9【「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト】

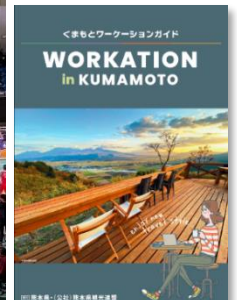
事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	86,815千円 (43,408千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的 (効果)	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○変革する社会への対応を踏まえた中小企業者の経営強化 (委託料) 68,172千円 ・中小企業者経営改善等推進事業 - 事業者への専門家派遣や相談会等の開催 ・中小企業生産性向上等推進事業 - ATやIot等を取り入れた生産性向上のための支援 ○熊本スーパーハイスクール構想 先端記述の関連企業や大学教授等の講師費用等 (報償費、使用料等) 6,907千円		 デジタル相談窓口 ポスター  中学生向け パンフレット
KPI達成状況 (R7年度時点)	①事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数 目標値：+768社 ⇒ 実績値：集計中 ②DX（デジタル化）のために専門家を活用（派遣）した事業者数 目標値：+2,850社 ⇒ 実績値：+5,001社（目標値を達成） ③県立高校の連携先企業等の数 目標値：+26者 ⇒ 実績値：+97者（目標値を達成） ④外国人雇用事業者数 目標値：+300社 ⇒ 実績値：+1,494社（目標値を達成）		

No.10【くもとDXグランドデザイン推進プロジェクト】

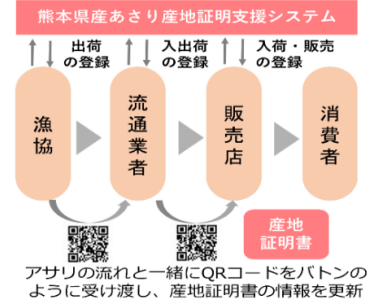
事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	34,874千円（17,437千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	DX（デジタルトランスフォーメーション）を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインに基づく取組みの裾野を広げるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。		
事業概要・ 主な経費	○DX推進に係るコンソーシアムの運営 ・コンソーシアムの運営（オープンイベント、マッチング支援に係る取組み等）（委託料）26,928千円 ○DX人材育成 ・社会人を対象とした実践型の研修（委託料）6,000千円 ○農業生産へのデジタル技術の導入 ・生育データの収集・分析、気象データと連携した栽培管理等（委託料）1,845千円		 DXセミナー  花き管理DX推進事業
KPI達成状況 (R7年度時点)	①DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数 目標値：+53件 ⇒ 実績値：+56件（目標値を達成） ②コンソーシアム参加団体数 目標値：+150団体 ⇒ 実績値：+755団体（目標値を達成） ③イチゴ「ゆうべに」の作付面積 目標値：+18.0ha ⇒ 実績値：+12ha（目標値の5割以上を達成） ④実証経営体におけるデコポンの出荷率 目標値：+1.0% ⇒ 実績値：+26%（目標値を達成）		

No.11【国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	77,816千円 (38,908千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光振興 (DMO) 等の観光分野
目的 (効果)	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じたワーケーション等の新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。		
事業概要・ 主な経費	○国際スポーツ大会の開催 ・国内外の選手・スタッフ及び観客等を円滑に受け入れるための大会運営の実施 (負担金) 65,526千円 ○国際バドミントン大会での熊本でおもてなし促進事業 ・インフォメーションセンターの設置、選手・役員や観戦客への誘導対策等 (負担金) 5,000千円 ○新たな観光スタイル促進事業 ・専門的知見を有するアドバイザーの派遣及び地域と企業とのマッチング人材の育成 (委託料等) 1,573千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①国際大会の観客数 目標値：+33,500人 ⇒ 実績値：+30,496人 (目標値の7割以上を達成) ②熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数 目標値：+70者 ⇒ 実績値：+84者 (目標値を達成) ③滞在・交流プログラム利用者数 目標値：+270人 ⇒ 実績値：+52人 (目標値の達成は5割未満)		



No.12【熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト】

事業計画期間	R5～R9年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	56,582千円 (28,291千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うかもと」の実現と地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○フードバリューチェーン構築支援 ・選果場等における作業効率化のための人材育成、機能強化につながる機器の再配置・機材導入経費（補助金等）291千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の確立や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・運用（負担金）9,979千円 ○農林水産物・加工食品の更なる輸出拡大 ・台湾向け輸出に取り組む事業者への支援（委託料）9,993千円		 熊本県産あさり産地証明支援システム 出荷の登録 → 流通業者 → 入出荷の登録 → 販売店 → 入荷・販売の登録 → 消費者 産地証明書 アサリの流れと一緒にQRコードをバトンのように受け渡し、産地証明書の情報を更新
KPI達成状況 (R7年度時点)	①フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合 目標値：+80.1% ⇒ 実績値：+71.5%（目標値の7割以上を達成） ②熊本県産あさり販売協力店舗数 目標値：+1,445店舗 ⇒ 実績値：+1,649店舗（目標値を達成） ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数 目標値：+21件 ⇒ 実績値：+32件（目標値を達成） ④ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設 目標値：+2件 ⇒ 実績値：+2件（目標値を達成）		

No.13【地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト】

事業計画期間	R5～R9年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	61,561千円 (30,781千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光振興 (DMO) 等の観光分野
目的 (効果)	コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等が丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC (台湾) の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○地域資源のリブランディング ・不知火海の魅力発信 (委託料) 29,995千円 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 ・受入検討会、学校意識調査、マッチング対応等 (委託料) 8,470千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 ・マーケティング、情報発信、現地旅行会社セールス等 (委託料) 14,999千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①熊本県の外国人延べ宿泊者数 目標値：+300,000人 ⇒ 実績値：+1,726,190人 (目標値を達成) ②熊本県の教育旅行宿泊者数 目標値：+23,500人 ⇒ 実績値：集計中 ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数 目標値：+60事業 ⇒ 実績値：+49事業 (目標値の7割以上を達成) ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数 目標値：+180,000回 ⇒ 実績値：+335,261回 (目標値を達成)		

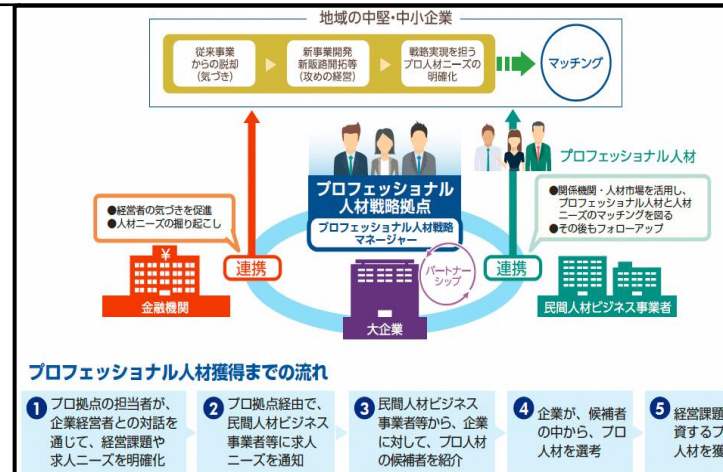


No.14【シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト】

事業計画期間	R5～R9年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	130,942千円（65,471千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的（効果）	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費	○県立高校の半導体関連人材育成 ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等） 30,254千円 ○公共交通利用促進に係る取組み支援 ・公共交通の利用促進に取り組む企業等への支援（補助金） 1,000千円 ○国際的な教育環境の整備 ・インターナショナルスクールの整備促進（補助金） 96,682千円		 半導体関連人材育成  インターナショナルスクール
KPI達成状況 (R7年度時点)	①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数 目標値：+14,100人 ⇒ 実績値：+15,694人（目標値を達成） ②インターナショナルスクールの児童生徒数 目標値：+45人 ⇒ 実績値：+59人（目標値を達成） ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数（1日あたり／年平均） 目標値：+800人 ⇒ 実績値：+1,141人（目標値を達成） ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数 目標値：+1者 ⇒ 実績値：+1者（目標値を達成）		

No.15【プロフェッショナル人材戦略拠点事業】

事業計画期間	R5～R9年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	51,284千円 (29,133千円)
事業タイプ・類型	プロフェッショナル人材型	事業分野 (詳細)	—
目的 (効果)	「プロフェッショナル人材戦略拠点」を県内に設置し、地域企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、副業・兼業を含めた企業が必要とするプロフェッショナル人材の獲得を支援する。		
事業概要・ 主な経費	○プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (本体事業) ・「熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点」設置に係るマネージャー及びサブマネージャーの人件費、一般管理費等 44,302千円 ○副業・兼業人材活用促進事業 ・副業・兼業プロ人材を活用したことのない中小企業に対して、活用を強力に後押しするために支援する補助金 6,982千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①地域企業に対する人材マッチング件数 (副業・兼業を含む) 目標値：+105件 ⇒ 実績値：+239件 (目標値を達成) ②地域企業に対するデジタル人材マッチング件数 (KPI①の内数) 目標値：+21件 ⇒ 実績値：+30件 (目標値を達成) ③金融機関の紹介による地域企業に対する人材マッチング件数 (KPI①の内数) 目標値：+21件 ⇒ 実績値：+20件 (目標値の7割以上を達成)		



No.16【半導体産業と農業の共存共栄！くまもとの産業持続化環境整備プロジェクト】

事業計画期間	R 6 ～R 8 年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	107,198千円 (53,599千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	国家プロジェクトでもあるTSMC進出をはじめとした半導体産業の集積による経済発展と環境保全を両立できるよう、水資源の保全や環境負荷の低減に取り組むとともに、農地の確保・担い手の確保育成や畜産業の生産性の向上に取り組むことで、本県の基幹産業である農業の持続的発展につなげ、半導体産業と農業の共存共栄を目指し、県土の均衡ある発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地下水保全等 ・周知啓発 (委託料) 5,884千円 ・半導体関連企業の集積に伴う地下水保全対策の検討等 (委託料) 5,982千円 ○環境負荷の低い半導体製造装置の開発 ・低環境負荷型半導体製造装置の開発支援 (一般需用費) 1,028千円、(備品購入費) 9,163千円 ○地域の特徴を生かした稼げる農業の確立 ・高能力な肉用雌牛群及び乳用雌牛群の整備 26,332千円		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①熊本県における農林水産出荷額 目標値：+2,687,219千円 ⇒ 実績値：集計中 ②県有種雄牛の選抜頭数 目標値：+0頭 ⇒ 実績値：+0頭 (目標値を達成) ③プロジェクトにおける知的財産化件数 目標値：+2件 ⇒ 実績値：+2件 (目標値を達成) ④地下水の人工かん養量 (大津町及び菊陽町) 目標値：+160.00万m³ ⇒ 実績値：+911.00万m³ (目標値を達成)		



No.17【五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した“ひかり輝く”新しい五木村の実現！グリーン成長加速化総合対策プロジェクト】

事業計画期間	R6～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	16,469千円（8,235千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	コンパクトシティ、町の賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり
目的（効果）	豊富な森林資源をフル活用し、適切な森林整備を実施しながら、林業の川上から川下までの森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上等など林業施策を核とした取組みを推進する。さらに、五木村での取組みをモデルとして、林業関係者をはじめとした様々な関係者と連携を図りながら、県内の同様の課題を抱える地域に横展開・普及して五木村だけでなく他地域の地方創生にも繋げる。		
事業概要・ 主な経費	1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化 6,930千円 ・地域が主体となって森林を共同で管理する手法の実証調査 ・低コスト・花粉症対策再造林技術の有効性等の実証調査 2 林業を支える「人財」の発掘・育成 9,539千円 ・自伐（型）林家の自立に向けた支援 ・林業DX人財育成のためDXアドバイザー派遣や研修会の開催等 1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化  低コスト造林に繋がる機械等の新技術の活用  先進的な架線集材導入の促進 2 林業を支える「人財」の発掘・育成  自伐（型）林家の定住促進  林DXの推進業 		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①熊本県における農林水産就労者数 目標値：+8人 ⇒ 実績値：+3人（目標値の達成は5割未満） ②五木村の再造林率 目標値：+18% ⇒ 実績値：集計中 ③五木村の素材生産量 目標値：+3,147m ³ ⇒ 実績値：集計中 ④五木村の林業事業体におけるDX技術導入事業体数 目標値：+0者 ⇒ 実績値：+3者（目標値を達成）		

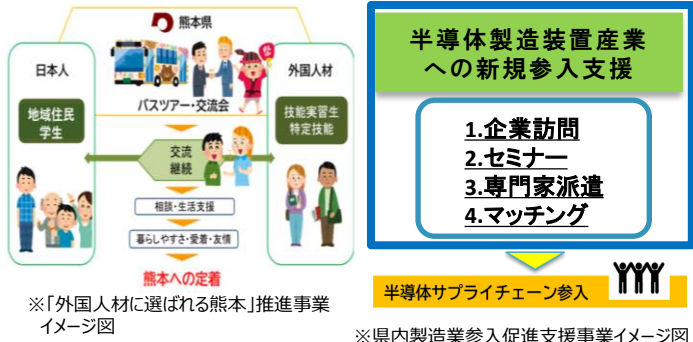
No.18【若者の定着・関係人口創出プロジェクト】

事業計画期間	R6～R8年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	59,340千円 (29,670千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的 (効果)	本県の将来を担う高校生を中心とした若い世代を対象に、地域をフィールドとした課題解決学習や伝承芸能活動を通して地域への愛着を育み、若者の地元定着を図るとともに、県外在住者に対して本県の魅力を発信し、熊本ファンの獲得や地域活動参画へのマッチングを行い、関係人口の創出・拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費	○小中学校までの子どもへのアプローチによる地域への愛着形成 ・伝承芸能団体の地域間交流への支援、芸術家等による指導等 (会場使用料、謝金等) 1,707千円 ○関係人口創出事業 ・地域活動への参加希望者と地域をマッチングする仕組みの運用等 (委託料) 33,625千円 ○効果的なターゲット層への情報発信等 ・都市圏におけるSNSや雑誌等での情報発信、福岡県における県内市町村PRイベントやマッチングイベントの開催等 (委託料) 24,008千円		 関係人口創出のためのPR・マッチングイベント
KPI達成状況 (R7年度時点)	①地域へのUIターン数 目標値：+60人 ⇒ 実績値：集計中 ②子どもたちによる地域間交流団体数 目標値：+3団体 ⇒ 実績値：+9団体 (目標値を達成) ③マッチングシステムを活用して地域活動へ参画した人数 目標値：+70人 ⇒ 実績値：+134人 (目標値を達成)		

No.19 【くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業】

事業計画期間	R6～R9年度	R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	76,169千円 (39,584千円)
事業タイプ・類型	移住・起業・就業型	事業分野 (詳細)	—
目的 (効果)	県内企業と就職希望者とのマッチングを図るマッチングサイトを整備し、県内企業に就職し、または社会的事業等の分野において起業した者に対して移住に必要な経費を支給するとともに、社会的事業等の分野において起業したものに対して起業に必要な経費を支給することで、地域における人材確保を確実なものとし、地域の活力の維持、発展につなげていく。		
事業概要・ 主な経費	○移住支援事業 ・移住支援金、事務経費 67,630千円 ○マッチング支援事業 ・求人広告作成支援に係る経費 (セミナー、アドバイザー派遣等) 3,000千円 ○起業支援事業 ・起業支援金、事務経費 8,538千円 移住支援金の交付までの流れ ※3 市町村によっては、「就職して3か月以上」又は「移住(転入)して3か月以上」の要件を設定している場合もあります。		
KPI達成状況 (R7年度時点)	①本移住支援事業に基づく移住者数 目標値：+681人 ⇒ 実績値：+313人 (目標値の達成は5割未満) ②本移住支援事業に基づく起業者数 目標値：+6人 ⇒ 実績値：+7人 (目標値を達成) ③マッチングサイトに新たに掲載された求人数 目標値：+4,400件 ⇒ 実績値：+4,568件 (目標値を達成) ④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数 目標値：+156世帯 ⇒ 実績値：+55世帯 (目標値の達成は5割未満)		

No.20【くまもと新時代を勝ち抜くための企業成長プロジェクト】

事業計画期間	R7～R9年度					R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	172,920千円（85,460千円）
事業タイプ・類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業	事業分野（詳細）	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	地域課題である人手不足解消に向け、外国人材を含めた人材の確保・育成に取り組む。また、CSRやCSV、DX・GX、異分野参入等により企業価値を高めることにより、県内企業の競争力向上・成長を促し、変化の時代を生き抜く力強い企業の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	○「外国人材に選ばれる熊本」推進事業 15,510千円 ・外国人材の熊本定着につなげるため、日本人との交流イベントや窓口における相談対応、セミナー開催（委託料等） ○建設産業担い手確保・育成事業 16,360千円 ・建設企業が実施する多様な人材が働きやすい環境整備に対する支援（委託料、補助金） ○阿蘇グリーンインフラモデル形成支援事業 28,450千円 ・草原再生や水田湛水など阿蘇地域における地下水保全の取り組みの貢献度を示すための指標の評価（委託料等） ○シンカ企業創出推進事業 59,912千円 ・DX・GX経営戦略支援に関する経費 ・専門家チーム派遣に関する経費 ・企業へのフォローアップに関する経費					 ※「外国人材に選ばれる熊本」推進事業イメージ図 ※県内製造業参入促進支援事業イメージ図	
KPI達成状況 (R7年度時点)	①製造品出荷額等 目標値：+4,183億円 ⇒ 実績値：集計中 ②外国人材雇用事業所数 目標値：+320社 ⇒ 実績値：+422社（目標値を達成） ③データを活用して地域課題解決に取り組んだ企業・団体数 目標値：+10社 ⇒ 実績値：+32社（目標値を達成） ④阿蘇の水源涵養に着目した評価指標に基づく企業等からの寄付金額 目標値：+0千円 ⇒ 実績値：+5,642千円（目標値を達成）						

62

No.21【稼げる農林水産業の実現プロジェクト】

事業計画期間	R7～R9年度						R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	86,518千円（43,259千円）
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	人口減少・生産基盤の弱体化による本県の農林水産業の競争力低下・県内需要の減少が懸念される中、労働生産性を高めるとともに、地下水に支えられた安心・安全な農林水産物について、首都圏等の消費力と多様な消費者ニーズをとらえたブランド化や加工品開発などの高付加価値化につなげるなど、生産から販売に至るまでの課題に対応した取組みにより、新たな付加価値を生み出し、稼げる農業の実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費	○デジタル技術の活用による生産性向上 ・農林水産物の生産から流通段階におけるデジタル技術の実証（委託料等）30,438千円 ○高付加価値化に取り組むコンソーシアムの組織化・育成 ・コンソーシアムが取り組む施設整備・機械導入への支援（補助金）11,080千円 ○県産ブランド畜産物の特長に応じた供給体制構築 ・くまもと黒毛和牛等の首都圏への生体出荷支援（補助金）15,685千円 ○農産物や加工品の安全・安心の確保 ・PFAS分析、有害物質吸着材開発及び実装支援（備品）10,120千円						デジタル技術の活用による生産性向上  くまもと黒毛和牛 	
KPI達成状況 (R7年度時点)	①稼げる農業経営体（販売金額1,000万円以上）の割合 目標値：+1.06% ⇒ 実績値：+0.99%（目標値の7割以上を達成） ②スマート技術研修等参加者数 目標値：+33人 ⇒ 実績値：+154人（目標値を達成） ③農業生産関連事業の年間販売金額 目標値：+35.0億円 ⇒ 実績値：+187億円（目標値を達成） ④くまもと黒毛和牛の東京食肉市場出荷頭数 目標値：+138頭 ⇒ 実績値：+285頭（目標値を達成）							

63

No.22【地域の歴史・文化による魅力創出・周遊型観光地化プロジェクト】

事業計画期間	R7～R9年度					R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	70,133千円（35,067千円）
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	観光振興による地方創生を実現するため、インバウンドの誘客強化、歴史・文化等の固有資源の活用、地域で一体的に取り組むための体制の構築等を通して、周遊型観光地を形成し、収益力を高めて持続可能な観光地域となることを目指す。さらに、交流人口の拡大に伴い身近な存在となった外国人との共生に向けて、地域における多文化理解を深めると共に、外国人に対しても地域に根差した文化を発信・理解してもらう取組みを進める。						
事業概要・ 主な経費	○観光レップを活用した韓国インバウンド誘客拡大事業 ・現地代理人（セールスレップ）設置と事業実施に係る経費（委託料）5,300千円 ○伝統的工芸品販売力強化等支援事業 ・モデル商品を選定及び販売体制の整備。また、リアル販売の積極的な出展及びECサイトへの効果的な誘導の仕組み整備（委託料）11,292千円 ○DMO等の人材育成・体制構築 ・地域連携DMOと地域DMO等が連携した実証的な取組みへの補助（補助金）30,000千円 ○市町村多文化共生伴走型支援事業 ・多文化共生のノウハウを有する関係機関への委託に係る経費（委託料）6,923千円						
KPI達成状況 (R7年度時点)	①観光消費額 目標値：+192.6億円 ⇒ 実績値：集計中 ②訪日韓国人延べ宿泊者数 目標値：+23,500人 ⇒ 実績値：468,220人（目標値を達成） ③富裕層向けクルーズ船の寄港数 目標値：+5件 ⇒ 実績値：+27件（目標値を達成） ④デジタルアーカイブへのアクセス数 目標値：+0件 ⇒ 実績値：+0件（目標値を達成）						

No.23【九州ど真ん中！！アーバンスポーツ聖地化プロジェクト（大分県との広域連携事業）】

事業計画期間	R7～R9年度					R7年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	28,998千円（14,499千円）
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	豊かな生活環境分野
目的・効果	“九州ど真ん中”に完成する九州最大規模のアーバンスポーツ施設を、大分県と熊本県で共にホームとして活用し、都市圏と同等の「モノの豊かさ」と競技人口という「ヒトの豊かさ」を実現させることで、日本を代表するアーバンスポーツの“聖地”に育てあげ、ヒトがヒトを呼び込む流れの創出や魅力的なまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【熊本県】 ○聖地化に向けた大規模大会等の開催や大会招致等のプロモーション活動を実施するとともに、競技団体や教育機関等と連携し、クラブチーム設立や部活動化に取り組む（委託料） 28,998千円						
KPI達成状況 (R7年度時点)	①社会増 目標値：+542人 ⇒ 実績値：+542人（目標値を達成） ②20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率 目標値：+1% ⇒ 実績値：+1%（目標値を達成） ③アーバンスポーツの大規模大会や合宿等の誘致件数 目標値：+1件 ⇒ 実績値：+1件（目標値を達成）						

プロジェクト一覧（R3年度補正分）

デジタル田園都市国家構想交付金 （地方創生拠点整備タイプ）

※地方創生拠点整備タイプを活用した事業は、事業による効果が十分に発現した状態で効果を測定するため、供用開始後5年間のKPI達成状況を検証。

＜事業費ベース＞

No.	プロジェクト名	事業分野	事業計画期間	実績額(千円)
1	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト	観光振興	R3～R4	916,796

○K P I（重要業績評価指標）の達成状況

＜令和7年度時点におけるKPIの達成状況＞

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
1	3	0	0	2	1	0

【熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト】

事業計画期間	R3-R4年度	R4年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	916,796千円（458,398千円）
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野（詳細）	観光振興（DMO）等の観光分野
目的（効果）	熊本地震の経験や教訓等と熊本が誇る自然の豊かさや熊本地震から復旧・復興を遂げる姿を発信する熊本地震震災ミュージアム中核拠点「体験・展示施設」を整備することで、本県の交流・関係人口の拡大、ひいては移住定住の促進や地域産業の回復による地域活性化を通じた熊本地震からの創造的復興の推進を図り、本県の地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費	○熊本地震震災ミュージアム中核拠点体験・展示施設の整備事業 ・建築物本体工事667,445千円 ・電気設備工事58,300千円 ・機械設備、給排水工事64,738千円 ・屋外給水設備、屋外排水設備、浄化槽設備工事48,125千円	 熊本地震震災ミュージアムKIOKU	
KPI達成状況 (R7年度時点)	①体験・展示施設来場者数 目標値：＋101,000人 ⇒ 実績値：＋54,987人（目標値の5割以上を達成） ②中核拠点（旧東海大学阿蘇キャンパス）を教育旅行を目的で訪れる小中学校及び高校の学校数 目標値：＋220校 ⇒ 実績値：＋123校（目標値の5割以上を達成） ③体験・展示施設来場による観光消費額 目標値：＋1,546百万円 ⇒ 実績値：＋593百万円（目標値の達成は5割未満）		